

Ⅲ 事 業 編

第1 母子保健事業

1 母子保健の歩み

- 昭和23年 妊産婦・乳幼児の健康診査を開始
- 昭和36年 3歳児健康診査を開始
- 昭和40年 母子保健法制定
- 昭和41年 3か月児健康診査と同時にツベルクリン反応・BCG接種を開始
- 昭和44年 乳幼児心臓疾患精密検診開始
- 昭和48年 「碧南市健康を守る会」に小児保健部会が発足
- 昭和51年 小児保健部会を母子保健部会に名称変更
3か月児・2歳児健康診査開始、合わせて3歳児健康診査（保健所事業）を保健センターで実施
- 昭和53年 1歳6か月児健康診査を開始、2歳児健康診査を中止
- 昭和55年 母子モデル地区地域育成事業を開始
- 昭和57年 母子健康手帳の交付及び妊婦保健指導を開始
3歳児健康診査に眼位検査及び視力検査を導入し乳幼児の目の相談を併設
ことば教室を開始
- 昭和58年 むし歯のできにくいおやつ教室を開始
- 昭和59年 育児相談を開始
- 昭和61年 パパとママの育児教室を開始
- 昭和62年 新婚学級を開始
- 平成元年 新婚学級をニューライフセミナーに名称変更
- 平成2年 ことばの教室をのびのび教室に名称変更
- 平成2年 ニューライフセミナーを新婚セミナーに名称変更
- 平成4年 3歳児健康診査に聴覚検査を導入
すくすく教室を開始
母子保健法改正で母子健康手帳の交付が市に委譲、並びに母親教室が市に委譲
され、パパとママの育児教室と合わせてパパママ教室に名称変更し開始
- 平成8年 乳幼児心臓疾患精密検診を廃止
- 平成9年 地域保健法の施行により、妊婦・乳児健康診査を医療機関委託及び保健センターで開始。3か月児・3歳児健康診査、新生児訪問も市主催で開始

- これらに併せて、離乳食講習会、乳幼児経過観察クリニックを開始
6月おやつ教室をかむかむ教室に名称を変更
- 平成11年 マタニティークッキング教室を開始
- 平成12年 子育て広場を開始
- 平成13年 2歳児育児相談開始
乳幼児事故アンケート実施、妊娠中の喫煙についてアンケート実施
- 平成14年 新婚セミナー中止
のびのび教室を月2回実施
- 平成15年 子育て広場を年6クール開催（1クール4回の実施）
母子健康手帳の交付について初産婦は、毎週水曜日午前中集団教育と個別相談を実施（2月から）
のびのび教室を2グループに分け、月3回実施
子育てママのヘルシークッキング教室を開始
- 平成16年 のびのび教室を10月から月4回実施
すくすく教室の内容を見直し1クール4回実施（年4クール）
子育て講演会を実施
母子保健推進員養成講習会の実施
3月から母子保健推進員（25名）による赤ちゃんお誕生おめでとう訪問（第1子のみ）を開始
経過観察クリニックを中止
- 平成17年 かむかむ教室を中止し、対象年齢を1歳児として6月より歯と栄養のおたんじょうび教室を開始
1月から赤ちゃんお誕生おめでとう訪問を全出生児を対象とする。また、産後うつのアンケートを全産婦に実施
1月から母子保健推進員が運営主体で赤ちゃんサロンを開始
母子保健推進員の第2期生の養成講習会及び第1期生のフォローアップ研修会の実施
- 平成18年 妊婦健康診査受診（公費負担）を2回から3回にする
マタニティークッキング教室を年6回から毎月1回（年12回）とし、講話内容を3つに変更し実施
子育てママのヘルシークッキング教室を子育てママの食育クッキング教室に名称を変更
一般不妊治療費助成（一般不妊検査及び治療、人工授精）開始。助成額は一回

- につき自己負担額の2分の1で上限5万円とする
- 平成19年 妊婦健康診査受診（公費負担）を3回から7回にする
 歯と栄養のおたんじょう日教室をかむかむ教室に名称変更する
 しんまいママのふれあいサロンを中止する
 すくすく教室の対象年齢及び内容を変更する
- 平成20年 妊婦健康診査受診（公費負担）を7回から14回に変更する
 （妊婦健診の一部を補助する受診票の交付）
- 平成21年 養育支援訪問事業の中核機関としてケース検討会の開催及び訪問の開始
- 平成22年 妊婦健康診査の公費負担での検査項目を追加
- 平成23年 妊婦健康診査の公費負担での検査項目を追加（HTLV-1抗体検査）
- 平成25年 離乳食講習会をごっくん教室（離乳食前期）に名称変更し、もぐもぐ教室（離乳食後期）を隔月で開始
 かむかむ教室を毎月実施から隔月実施にする
 平成25年4月1日以降に出産した産婦に産婦健康診査受診票を交付（公費）
 母子保健法（第18条）に基づく低出生体重児届出先が市町村に変更され、
 未熟児の家庭訪問が市町村に移譲
 パパママ教室の内容に、乳幼児の泣きについてなどを追加
 平成25年4月から3か月児健康診査と同日で実施していたBCG接種を対象月齢の変更に伴い、別日での実施に変更
- 平成26年 3歳児健康診査の耳鼻科医師による聴覚診察を平成27年3月で終了
 すくすく教室の参加月を偶数月とし4回参加とする
- 平成27年 3か月児健康診査に股関節に関するアンケートを取り入れる
- 平成28年 プレママ食育教室を中止し、初産婦向け母子健康手帳交付時（集団教育）に
 栄養指導を実施
 一般不妊治療費助成事業を拡充。助成額を全額とする
 特定不妊治療費助成を、平成28年7月から申請受付開始（平成28年4月
 1日の医療費から適用）、愛知県特定不妊治療費助成額を除いた自己負担額を
 上限10万円助成
- 平成29年 ごっくん教室、もぐもぐ教室、かむかむ教室を離乳食教室 前期・後期・完了
 期と名称変更し、離乳食の進行に合わせた時期に受講
- 平成30年 のびのび教室を、参加対象年齢を2グループに分けて実施
 11月から子育て世代包括支援センターを開始
- 令和元年 令和2年1月から産後ケア事業を開始

- 令和３年 新生児聴覚検査（公費負担）を開始する（令和３年４月１日以降に生まれた児から対象）
- 令和４年 生殖補助医療助成制度を開始、１回の治療につき上限１０万円で助成（愛知県特定不妊治療費助成事業廃止）
令和５年２月から出産・子育て応援事業開始
- 令和５年 産婦健康診査を１回から２回に変更する
多胎妊娠の場合、５回分の妊婦健康診査を追加する
特定不妊治療費助成事業は県の補助事業終了に合わせて終了
９月から子育て支援アプリ「碧っ子ナビ」開始
- 令和６年 母子健康手帳の交付を初産婦も経産婦と同様の個別交付に変更
産後ケア事業「訪問ケア」を開始
- 令和７年 子育て世代包括支援センターを廃止し、こども家庭センター母子保健機能を設置（児童福祉機能はこども課に設置）

２ 母子健康手帳交付

(1) 目的

妊娠届出書に基づき、母子健康手帳を交付し、妊娠中の管理及び産後・子どもが６歳になるまでの健康状態を記録し、保管する。

(2) 実施方法

平日の午前中（祝日および１２月２９日から１月３日を除く）に個別で交付

(3) 交付状況

交付数 487（双胎 6）

（単位：人）

妊娠届出数	初産	経産	11 週以内		12～19 週		20～27 週		28 週以降		分娩後	
			初産	経産	初産	経産	初産	経産	初産	経産	初産	経産
481	210	271	198	259	9	9	1	3	2	0	0	0
			457 (95.0%)		18 (3.7%)		4 (0.8%)		2 (0.4%)		0 (0%)	

3 妊産婦・乳児健康診査

(1) 目的

健診を通じて異常の早期発見を図るとともに、適切な指導を行う。経済的負担の軽減を図り、無事に出産を迎えることができることを目的とし、一部を補助する「受診票」を交付する。

(2) 交付

母子健康手帳交付時に、妊婦健康診査（１４回分）、産婦健康診査（２回分）、新生児聴覚検査（１回分）、乳児健康診査（２回分）の受診票を発行

多胎妊娠者には妊婦健康診査５回分を追加交付

(3) 受診状況（医療機関委託・償還払い）（単位：件）

	受診数	判定結果	
		異常なし	異常あり
妊婦健康診査 第 1 回－1	473	404	69
妊婦健康診査 第 2 回	458	446	12
妊婦健康診査 第 3 回	464	456	8
妊婦健康診査 第 4 回	480	470	10
妊婦健康診査 第 5 回	477	472	5
妊婦健康診査 第 6 回	458	454	4
妊婦健康診査 第 7 回	440	436	4
妊婦健康診査 第 8 回	459	240	219
妊婦健康診査 第 9 回	434	428	6
妊婦健康診査 第 1 0 回	450	364	86
妊婦健康診査 第 1 1 回	409	401	8
妊婦健康診査 第 1 2 回	396	253	143
妊婦健康診査 第 1 3 回	284	278	6
妊婦健康診査 第 1 4 回	163	157	6
妊婦健康診査 第 1 回－2	480	463	17
産婦健康診査 第 1 回	439	426	13
産婦健康診査 第 2 回	434	423	11
新生児聴覚検査	362	355	7
乳児健康診査 第 1 回	447	398	49
乳児健康診査 第 2 回	390	367	23

年間受診延件数	妊婦	産婦	新生児聴覚	乳児
令和7年度	延 5,845	延 873	362	延 837

(4) 健診結果（健康診査結果報告書の内訳）

妊婦健診結果 (単位：件)					乳児健診結果 (単位：件)				
	高血圧・ 蛋白尿	貧血	その他	HBs 抗 原陽性		身体 発育	運動 発達	心疾患	その他
1 回目	15	24	45	1	1 回目	8	0	13	31
8 回目	17	177	110	—	2 回目	3	5	5	10
12 回目	15	154	4	—					

※重複あり

※重複あり

貧 血：Hb11.0g/dl 未満

高血圧：140/90mmHg 以上

蛋白尿：(++) 以上

※ その他の内容

1 回目 臍肉芽、血管腫など

2 回目 停留精巣、乳房腫大など

新生児聴覚検査結果

(単位：件)

	両耳	右耳のみ	左耳のみ
Refer (要再検査)	2	1	6

4 乳幼児健康診査

(1) 乳幼児健康診査の結果 (単位：人)

		3 か月児健康診査		1 歳 6 か月児健康診査		3 歳児健康診査	
対象者数		436		496		602	
受診者数		442	101.4%	487	98.2%	592	98.3%
判 定 区 分	問題なし	328	74.2%	381	78.2	436	73.6%
	要 観 察	25	5.7%	68	14.0	94	15.9%
	要 精 密	67	15.1%	13	2.7	34	5.7%
	要 治 療	2	0.5%	3	0.6	0	0%
	既 医 療	20	4.5%	22	4.5	28	4.7%
判定区分不明		0	—	0	—	0	—

(2) 乳幼児健康診査の結果の疾患別内訳（別表 1 から 3 34 から 36 ページ参照）

(3) 乳幼児健康診査の精密検査受診結果（別表 4 37 ページ参照）

(4) 子育て支援（保健指導・支援）の結果

ア 3か月児健康診査

(単位:人)

	支援不要	自ら対処 可能	保健機関 継続支援	機関連携 支援	状況確認	未入力
子の要因（発達）	436	4	0	0	2	0
子の要因（その他）	358	47	0	1	36	0
親、家庭の要因	396	22	6	5	13	0
親子関係	439	3	0	0	0	0
実件数	313	70	6	3	50	0

イ 1歳6か月児健康診査

(単位:人)

	支援不要	自ら対処 可能	保健機関 継続支援	機関連携 支援	状況確認	未入力
子の要因（発達）	245	67	14	4	157	0
子の要因（その他）	427	41	1	1	17	0
親、家庭の要因	467	12	5	3	0	0
親子関係	476	10	0	1	0	0
実件数	210	94	14	4	165	0

ウ 3歳児健康診査

(単位:人)

	支援不要	自ら対処 可能	保健機関 継続支援	機関連携 支援	状況確認	未入力
子の要因（発達）	396	79	16	18	83	0
子の要因（その他）	520	66	0	0	6	0
親、家庭の要因	578	10	1	1	2	0
親子関係	585	6	0	0	1	0
実件数	344	125	15	18	90	0

5 乳幼児の眼科スクリーニング

乳幼児の眼の異常は早期発見することが必要である。昭和57年度から乳幼児健康診査（3か月・1歳6か月）時の医師によるスクリーニング、保護者からのアンケート調査（1歳6か月・3歳）、眼科医師による眼位検査（3歳児）および目の健康相談、令和4年度からはスポットビジョンスクリーナーを実施している。

- (1) 目の健康相談実施状況（3歳児眼位検査に併設）（単位：人）

	対象者数	受診人数	未受診人数
1歳6か月児アンケート	0	0	0

※1歳6か月児アンケートの「はい」と回答のあった人数：48人

- (2) 目の健康相談結果（1人）

異常なし 0人 要精密検査 0人

- (3) 3歳児健診 視覚アンケート・視力検査・スポットビジョンスクリーナー・

眼位検査結果 ※重複あり

（単位：人）

眼位検査実施数		592	
家庭での視力測定		592	
内訳	両眼可	395	
	未実施又は理解不能	155	
	右眼、左眼ともに 0.5 不可	14	
	右眼 0.5 不可又は、左眼 0.5 不可	28	
スポットビジョンスクリーナー実施数		592	
内訳	異常なし		535
	異常の疑い		50
	再掲	遠視	5
		不同視	8
		乱視	29
		斜視	6
		近視	3
		瞳孔不同	2
		弱視	1
		外斜視	1
	測定不能		5
	未実施		2
管理中		13	
事後処理	問題なし	347	
	指導	13	
	3歳6か月視力測定	149	
	精密検査	83	

事後処理	内訳	屈折異常疑	45
		眼位異常疑	18
		その他	24
	検査不能		1

管理中の内容（13人）重複あり

近視（1人） 斜視（1人） 不同視（1人） マーカスガン現象（1人）

右上斜筋麻痺、右上斜視（1人） 斜視疑い、視力疑い（1人）

両目遠視性弱視（1人） 乱視（1人） 弱視（2人） 間欠性外斜視（1人）

瞳孔不同（1人） 未熟児網膜症観察中（1人）

6 幼児健康診査等での心理相談

(1) 目的

言語面や社会面等の発達に関しての心配や不安についての軽減を図る。

(2) 対象

ア 1歳6か月児健診及び3歳児健診において言語面や社会面等の発達について経過観察が必要と思われる児

イ 保護者等から相談で必要と認められた児

(3) 実施状況

(単位：人)

1歳6か月児	3歳児	その他	合計
10	11	3	24

7 幼児健康診査での栄養相談

(1) 目的

規則正しくバランスの良い食生活ができるよう、保護者に具体的なアドバイスをし、児の健やかな成長ができるように栄養士が援助する。

(2) 対象

ア 1歳6か月児及び3歳児健診受診の親子（栄養資料は個別に説明・配布）

イ 1歳6か月児及び3歳児健診において体重増加不良、肥満傾向等の認められる児

ウ 相談を希望する親子

(3) 相談実施状況 (単位：人)

1歳6か月児	3歳児	合計
58	68	126

相談内容 (単位：人)

	1歳6か月児	3歳児
偏食	22	37
食生活	19	5
身長・体重	4	6
肥満	1	0
間食	3	3
小食	6	6
多食	0	0
ムラ	0	10
アレルギー	3	1

8 3歳児健診 耳の聞こえのアンケート・聴覚検査結果

聴力検査結果 ※重複あり (単位：人)

異常なし	451
主治医管理	1
精密検査	41
家庭での聴力検査再努力	99

(1) 主治医管理の内容

難聴疑い（1人）

(2) 精密検査の内容

滲出性中耳炎等疑い（1人） 難聴等疑い（20人）

9 育児相談、歯科相談、栄養相談

(1) 目的

育児、歯と口、栄養に関する心配や不安の軽減を図り、児の健やかな成長を図る。

(2) 内容

身体計測（必要に応じて頭囲、胸囲）、育児相談、歯科相談、栄養相談

(3) 実施日、実施場所

- ア 育児・歯科・栄養相談：保健センター 毎週月曜日（４２回）９時から１１時
 イ ２歳児育児相談：保健センター 毎月第１水曜日（１２回）午後
 ウ 子育て支援センター育児相談：
 と一ぶ、たなおっこ、ららくるにしばた 各施設年４回（午前）
 こころつくしんかわ 年６回（午前）
 エ その他 随時電話、面接による育児相談

(4) 対象

相談等を希望する乳幼児の保護者・乳幼児健診事後として必要と思われる児

(5) 実施状況

ア 育児相談・２歳児育児相談 (単位：人)

	育児相談			再掲		２歳児育児 相談
	初回	再来	計	歯科相談	栄養相談	
乳児	182	314	496	38	57	—
幼児	116	300	416	73	39	104
計	298	614	912	111	96	104

(7) 来所目的 ※重複あり (単位：人)

	育児相談	２歳児育児相談
身体計測	836	56
健診事後	61	52
育児相談	137	10
栄養相談	74	—
歯科相談	102	—

(イ) 相談内容 ※重複あり (単位：人)

	育児相談	２歳児育児相談
栄養・食事	95	2
歯について	112	1
発達について	40	56
身長・体重	878	91
育児全般	65	9
その他	6	0

イ 子育て支援センター育児相談

(単位：人)

	とーぶ	たなおっこ	ららくるにしばた	こころつくしんかわ	計
乳児	4	6	6	6	22
幼児	15	18	16	19	68
計	19	24	22	25	90

ウ その他

(単位：人)

種 別	延人数
電話相談	232
面接相談	40

10 パパママ教室

(1) 目的

夫婦になる心構えや子どものいる夫婦関係を考えながら育児の具体的な方法を学び、豊かな子育てと健やかな家庭づくりの手助けをする。

(2) 内容

ア 講話「赤ちゃんとの暮らし」

講師：助産院こよみ 助産師 安本直美 氏

イ 実技演習・体験

抱っこ、おむつ交換、沐浴、妊婦体験

ウ 「赤ちゃん、なぜ泣くの？どう泣くの？」

乳幼児揺さぶられ症候群についてのDVD視聴、赤ちゃんの泣き声をCDで聞き、乳児の泣きや対応方法について理解する。

(3) 日時

5月、8月、11月、2月の日曜日 9時15分から12時

(4) 対象

母子健康手帳の交付がされている妊婦とその夫、家族

(5) 参加状況

実施回数 4回 参加人数 85人（うち妊婦数 43人）

11 赤ちゃんサロン

(1) 目的

ア 月齢の低い児をもつ保護者が安心して集える場とする。

イ 保護者同士が交流し仲間づくりをすることで、育児の孤立化を防止する。

(2) 対象

生後5か月までの児とその保護者

(3) 従事者

母子保健推進員6名、保健師

(4) 実施日

月2回 木曜日 実施回数24回

(5) 実施場所

保健センター

(6) 参加者数

開催回数 (回)	参加組数 (組)	参加者数 (人)	新規組数 (組)
24	209	418	59

1.2 離乳食教室 前期

(1) 目的

授乳・離乳の支援ガイド、乳幼児身体発育曲線の活用・実践ガイドに基づき、離乳食開始時に必要となる基本の知識を中心に普及するとともに、保護者自身が食事内容を振り返り、バランスの良い食事につながるきっかけとする。

(2) 内容

ア 講話「離乳食前期の進め方（栄養士）」・「離乳食の食べさせ方（歯科衛生士）」

イ 試食、質疑応答

(3) 日時

毎月第4水曜日 13時15分から14時15分

(4) 対象

生後4か月から6か月ごろの児をもつ保護者及び家族

(5) その他

試食調理は碧南市健康づくり食ボランティアの協力を得ている

(6) 参加状況

実施回数 12回 参加数 93組

1.3 離乳食教室 後期

(1) 目的

授乳・離乳の支援ガイド、乳幼児身体発育曲線の活用・実践ガイドに基づき、生後7

か月から11か月頃の児の発達と事故予防、離乳食中期・後期の進め方、食べ方のコツについて普及する。

(2) 内容

講話「発達と事故予防（保健師）」・「離乳食後期の進め方（栄養士）」・「食べる意欲の作り方（歯科衛生士）」、試食、質疑応答

(3) 日時

偶数月第1金曜日 10時から11時15分

(4) 対象

7か月から11か月の児とその保護者及び家族

(5) その他

試食調理は碧南市健康づくり食ボランティアの協力を得ている

(6) 参加状況

実施回数 6回 参加数 74組

1.4 離乳食教室 完了期

(1) 目的

授乳・離乳の支援ガイド、乳幼児身体発育曲線の活用・実践ガイドに基づき、前歯の生えてきた1歳から1歳半頃の児を対象に、この時期の発達と子どもへの関わり方、離乳食完了期の進め方、そしゃくについて伝える。

(2) 内容

講話「1歳から1歳半頃の発達と子どもへの関わり方（保健師）」・「離乳食完了期の食生活と好き嫌いについて（栄養士）」・「そしゃくの練習（歯科衛生士）」、試食、質疑応答

(3) 日時

奇数月第3金曜日 10時から11時15分

(4) 対象

1歳から1歳半頃の児とその保護者及び家族

(5) その他

試食調理は碧南市健康づくり食ボランティアの協力を得ている

(6) 参加状況

実施回数 6回 参加数 54組

15 すくすく教室

(1) 目的

1歳6か月から2歳までは発達の過程から育児が大変な時期である。この時期の育児不安や育児に困っている親が、子どもとの関わりを見つめ直す機会とする。また、不安などを相談できる場所があることを知ってもらい、親が育児を抱え込まないようにする。

(2) 内容

ア 自由遊びと個別相談 イ 全体遊び ウ 親グループ（隔月）

(3) 日時

毎月第1金曜日 9時30分から11時

(4) 対象

1歳6か月から2歳の児とその保護者

(5) 定員

12組

(6) 参加期間

4か月間

(7) 従事者

保健師4名から6名、保育士1名から2名、心理相談員1名、栄養士1名、
歯科衛生士1名

(8) 参加状況

(単位：人)

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	延参加者数
参加数	5	4	5	5	2	0	52
実施月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実参加者数
参加数	3	5	7	7	4	5	21

16 のびのび教室

(1) 目的

ア ことばや発達の遅れなどに心配がある親子に対し、集団保育・親子遊び等を通して発達を促す。

イ 保護者が情報交換を通して、育児について一緒に考え、よりよい育児ができるように支援する。

ウ 必要に応じ、適切な支援機関につなぐ。

(2) 内容

ア 自由遊びと設定保育 イ 親グループ（毎月1回） ウ 心理相談

(3) 日時

ア ひよこグループ（2歳から2歳7・8か月未満）

毎月第1・3火曜日 9時30分から11時

イ ぞうグループ（2歳7・8か月から就園まで）

毎月第2・4火曜日 9時30分から11時

(4) 対象

ア 1歳6か月児健診及び3歳児健診で、ことばや発達の遅れなどの心配のある児

イ 保護者等からの相談で保健師が必要と認めた児

(5) 参加状況（令和7年度 実施回数47回 実人数45人）

6年度からの継続参加児	8人
7年度からの参加児	43人（うち、見学のみ3人）
ひよこグループ	実28人（延べ148人）（うち見学のみ1人）
ぞうグループ	実23人（延べ177人）（うち見学のみ2人）
ひよこグループからぞうグループへ移行した児	3人

ア 月別参加状況（単位：人）

ひよこグループ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
参加人数	10	4	10	15	16	14	14	9	13	11	15	17	148

ぞうグループ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
参加人数	5	8	13	13	14	17	16	17	20	17	16	21	177

イ 年齢（初回参加時）

（単位：人）

	男	女	計
2～3歳未満	22	14	36
3～4歳未満	5	5	10
計	27	19	46

ウ 参加の主問題

※重複あり

（単位：件（）内は人）

	男	女	計
ことば遅れ	18	10	28
かんしゃく	2	4	6
おちつきなし	10	5	15

	男	女	計
母の育児不安	1	1	2
発達の遅れ	2	4	6
その他	2	3	5
計	35(29)	27(17)	62(46)

その他の内容：人見知り 3 人、指差し 2 人

エ 参加後の状況 (単位：人)

にじの学園入園	1
保育園・幼稚園入園	13
卒業	2
次年度継続	15
福祉課親子支援事業	15
その他	0
計	46

(6) 従事者

保健師 4名から5名 保育士 2名 心理相談員 1名

1 7 他機関からの依頼による健康教室

	実施回数(回)	参加人数(人)	担当
子育て支援センター等	4	92	保健師、歯科衛生士、栄養士
小学校、中学校	4	659	保健師
高等学校	1	5	保健師

1 8 母子保健推進員

(1) 目的

身近な地域にいる育児についての相談相手として、また保健センターとのパイプ役として母子保健推進員を養成し、保健センターの母子保健活動の充実を図るとともに子育て支援のひとつとして、子育てを地域で支える基盤作りの担い手とする。

(2) 定員

50名

(3) 職務

ア 各種事業への協力

- イ 地域において母子保健の問題の把握に関する事及び知識の普及に関する事
- ウ その他母子保健の推進に関する事

(4) 委嘱人数

30名（令和7年4月1日現在）

(5) 活動内容

赤ちゃんサロン

ア 従事実人数 18名（1回につき6名）

イ 開催回数 24回

ウ 従事延人数 113名

19 母子保健推進員フォローアップ研修

(1) 目的

碧南市母子保健推進員として知識を高め、今後の教室等事業の活動に役立てる。

(2) 実施状況（延36人）

（単位：人）

実施日	内 容	講師・担当	参加人数
5月30日	令和6年度母子保健推進員活動実績 講話「おさえておきたい、愛着の基礎知識」	こども課 臨床心理士： 堀場莉加氏	13
10月29日	講話「ふれあい遊びと絵本の読み聞かせについて」	保育士：清水明美氏	12
3月11日	次年度の活動について 講話「こどもの睡眠講座」	あなたの助産師あん 助産師：高須かおり氏	11

20 家庭訪問

(1) 目的

ア 妊産婦及び乳幼児の健康の保持増進のための訪問指導を行う。

イ 新生児及び乳幼児の育児支援としての母子訪問指導を行う。

ウ 乳幼児健診などで継続支援の必要な児に対して訪問指導を行う。

(2) 実績

（単位：延件数）

対 象	妊産婦	新生児	乳 児	幼 児	その他	合 計
延件数	457	8	470	145	11	1,091

※妊産婦、乳児の件数は、「赤ちゃんお誕生おめでとう訪問」を含む

2 1 赤ちゃんお誕生おめでとう訪問

(1) 目的

- ア 身近な地域に育児相談ができる人がいることを知ってもらう。
- イ 産婦の育児不安などを早期に把握する。
- ウ 育児に役立つ情報の提供を行う。

(2) 対象

令和7年2月から令和8年1月生まれの児とその保護者（生後2か月頃に訪問）

(3) 訪問従事者

市職員

(4) 実績

（単位：人）

対象数（乳児）	保護者数	訪問実施数	訪問未実施
439	435	428	11

※訪問実績には対象者以外（月遅れの訪問等）も含む

未実施の理由：

里帰り中4人（里帰り先へ依頼）、居住実態が他市2人（他市へ依頼）

その他5人（予定が合わず令和8年4月訪問4人、転入者令和8年4月訪問1人）

2 2 養育支援訪問事業

(1) 目的

養育支援が特に必要であると判断した家庭に対して、養育に関する指導、助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する。

(2) 対象

- ア 妊娠期から継続的な支援を特に必要とする家庭
- イ 子育てに対して強い不安や孤立感等を抱える家庭
- ウ 虐待のおそれやそのリスクを抱える、特に支援が必要と認められる家庭

(3) 支援内容

目標、支援計画に基づき下記のような支援を行う

- ア 安定した妊娠・出産・育児を迎えるための相談支援
- イ 育児不安の解消や養育技術の提供のための相談支援
- ウ 養育環境の維持改善や児の発達に関する相談支援

(4) 支援員

養育支援員、保健師

(5) 支援数

(単位：人)

対象者数	支援回数	ケース検討回数
0	0	0

(6) 検討会議構成メンバー

刈谷児童相談センター、こども課、養育支援員等支援に係わる関係機関

(7) 中核機関

健康課

2 3 産後ケア事業

(1) 目的

出産直後の母子支援として、一定期間、医療機関又は助産施設において、母体の休養及び体力の回復並びに母体及び乳児のケアを行うことにより、母子の心身の安定及び育児不安の解消を図る。

(2) 対象

出産後1年を経過していない産後ケアを必要とする者。

ただし、母親又はその子が、感染性の疾患に罹患している場合又は入院、治療等が必要な場合は除く。

(3) 内容

産後のからだやこころのケア、生活のアドバイス、授乳相談、育児相談など。

(4) 契約実施機関（7医療機関、6助産院）

碧南市民病院、医療法人清風会 岡村産科婦人科、社会医療法人 財団新和会 八千代病院、愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院、医療法人 尚志会 山田産婦人科、医療法人葵鐘会 ピーチベルクリニック、医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院、かとう助産院、碧助産院、りこ助産院、あなたの助産師あん、助産院・こよみ、だいとくや助産院

(5) 実績

	宿泊ケア	通所ケア	訪問ケア
申請件数（件）	13	44	55
実利用者数（人）	11	20	27
延利用日数（日）	31	53	57

2 4 一般不妊治療費助成事業

(1) 目的

不妊治療を受けている夫婦に対し、不妊治療に要する費用を助成することにより、当該夫婦の経済的な負担の軽減を図り、もって少子化対策の推進に寄与する。

(2) 対象

法律上の夫婦又は事実上の婚姻関係にあることが確認できる夫婦で、次のいずれにも該当する方

ア 申請時において、夫婦の一方又は両方が碧南市に住所を有していること

イ 医療機関によって一般不妊治療が必要であると認められたこと

ウ 夫婦いずれもが、医療保険各法の規定による被保険者、組合員又は被扶養者であること

(3) 助成の対象

不妊の検査、一般不妊治療（タイミング法、人工授精）

(4) 助成の額及び期間

ア 助成額

保険診療で支払った額の全額（千円未満切捨て）とする

イ 助成期間

助成を開始した最初の月から、継続する2年間

(5) 実績

申請数	妊娠確認数
65 件 (56 人)	11 件 (11 人)

2 5 生殖補助医療費助成事業

(1) 目的

不妊治療を受けている夫婦に対し、不妊治療に要する費用を助成することにより、当該夫婦の経済的な負担の軽減を図り、もって少子化対策の推進に寄与する。

(2) 対象

法律上の夫婦又は事実上の婚姻関係にあることが確認できる夫婦で、次のいずれにも該当する方

ア 申請時において、夫婦の一方又は両方が碧南市に住所を有していること

イ 医療機関によって生殖補助又は先進医療が必要であると認められたこと

ウ 夫婦いずれもが、医療保険各法の規定による被保険者、組合員又は被扶養者であること

(3) 助成の対象

生殖補助医療（体外受精・顕微授精、男性不妊の手術）および先進医療を受ける時に医療保険が適用された入院基本料など一般の診療と共通する部分（基礎的部分）

(4) 助成の額及び期間

ア 助成額

保険診療で支払った額、1回の治療につき上限10万円（千円未満切捨て）とする

イ 助成回数

40歳未満であるときは6回まで

40歳以上であるときは3回まで

(5) 実績

申請数	妊娠確認数
112 件（76 人）	52 件（49 人）

2.6 出産・子育て応援事業

(1) 目的

全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ「伴走型相談支援（妊婦等包括相談支援）」と妊婦を対象とした支援給付金を支給する「経済的支援（妊婦支援給付金）」を一体的に実施する。

(2) 内容および対象

ア 伴走型相談支援（妊婦等包括相談支援）

出産・育児の見通しを一緒に立てるため、①妊娠届出時、②妊娠8か月頃、③出産後に面談をし、その後継続的な情報の発信や随時の相談を実施する。

イ 経済的支援（妊婦のための支援給付）

妊娠の届出をした妊婦を対象に5万円および妊娠しているこどもの数×5万円を支給する。

(3) 実績

ア 伴走型相談支援（転入分含む）

（単位：人）

① 妊娠届出時面談	面談実施数	481
② 妊娠8か月頃	アンケート送付数	476
	アンケート返送数	362 (76.1%)

	面談希望数	17
	面談実施数	16 (うち電話対応 11)
③ 出生後	赤ちゃんお誕生おめでとう訪問数	428

イ 経済的支援（経過措置分含む） (単位：人)

妊婦支援給付金 1 回目	512
妊婦支援給付金 2 回目	476
合計	988

ウ 子育てアプリ「碧っ子ナビ」登録者数 1, 1 1 5 人 (令和 8 年 3 月末現在)

疾病の発見

		97パーセンタイル超	90パーセンタイル超	90～10パーセンタイル	10パーセンタイル未満	3パーセンタイル未満	未入力
発育	体重	9	9	359	42	23	0
	身長	5	5	353	56	23	0
	頭囲	4	9	376	41	12	0
	身体発育不良	所見なし	1～2階級	2階級超	未入力		
		338	78	3	23		
神経系	筋緊張	所見なし	所見あり	未入力			
	反射	442	0	0			
運動発達	定頻	436	6	0			
	手の握り(物をつかまない)	442	0	0			
精神発達	姿勢	442	0	0			
	笑わない	442	0	0			
感覚器	声が出ない	442	0	0			
	視線が合わない	442	0	0			
循環器	追視	442	0	0			
	聴覚異常	442	0	0			
消化器	心音異常	439	3	0			
	腹部腫瘍	442	0	0			
泌尿生殖器	そけいヘルニア	442	0	0			
	停留精巣(男児)	230	1	1			
股関節	仙骨皮膚洞・腫瘍	441	1	0			
	外生殖器異常	441	1	0			
皮膚	股関節開排制限	415	27	0			
	血管腫	430	12	0			
	湿疹	380	62	0			
	被虐待跡	442	0	0			

保健指導・支援

授乳		支援不要	自ら対処可能	保健機関 継続支援	他機関 連携支援	状況確認	未入力
		428	10	0	0	0	4
栄養方法	母乳	人工	混合	未入力			
	1か月時	104	69	264	5		
	3～4か月時	147	142	153	0		
生活習慣	メディアの視聴	いいえ	はい	未入力			
	子育ての相談相手	いる	いない	未入力			
		434	7	1			
	ゆったりとした気分で子と過ごせる	はい	いいえ	何とも言えない	未入力		
		393	5	43	1		
	現在、あなた(お母さん)は喫煙をしていますか。	母	なし	あり	本数合計	本数回答者	ありの内0または未入力
			426	16	180	16	0
	現在、お父さんのお父さんは喫煙をしていますか。	父	なし	あり	本数合計	本数回答者	ありの内0または未入力
			328	113	1311	106	7
	事故防止(誤飲)	はい	いいえ	未入力			
		383	56	3			
	妊娠・出産について満足している	はい	いいえ	どちらとも言えない	未入力		
		344	28	66	4		
	妊娠中、あなた(お母さん)は喫煙をしていましたか。	なし	あり	本数合計	本数回答者	ありの内0または未入力	未入力
		431	11	83	11	0	0
	妊娠中、あなた(お母さん)は飲酒をしていましたか。	なし	あり	未入力			
		437	4	1			
	この地域で、今後も子育てをしていきたいですか。	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	未入力	
		351	78	11	1	1	
	お子さんのお父さんは、育児をしていますか。	よくやっている	時々やっている	ほとんどしない	何ともいえない	未入力	
		0	0	0	0	442	
	あなたは、お子さんに対して、育てにくさを感じていますか。	育てにくさ	いつも感じる	時々感じる	感じない	未入力	
			2	60	378	2	
	育てにくさを感じた時に、相談先を知っているなど、何らかの解決する方法を知っていますか。	対処方法	はい	いいえ	未入力		
			50	5	7		
	子どもの社会性の発達過程	はい	いいえ	未入力			
		421	20	1			
	この数か月の間に、ご家庭で以下のことがありましたか。	しつけのし過ぎがあった(はい)	感情的に叩いた(はい)	乳幼児だけを家に残して外出した(はい)	長時間食事を与えなかった(はい)	感情的な言葉で怒鳴った(はい)	子どもの口をふさいだ(はい)
		4	2	3	0	14	3
	乳幼児ゆさぶられ症候群	はい	いいえ	未入力			
		420	14	8			
	子ども医療電話相談(#8000)を知っていますか。	はい	いいえ	未入力			
		365	76	1			
	子どものかかりつけ医(医師)	はい	いいえ	何ともいえない	未入力		
		236	139	60	7		
	お子さんのお母さんは妊娠中、働いていましたか。	妊娠中の就労	働いていたことがある	働いていない	未入力		
			303	136	3		
	妊娠中、仕事を続けることに対して、職場から配慮をされたと思いますか。	配慮の有無	はい	いいえ	未入力		
			254	31	18		
	妊娠中、マタニティマークを知っていましたか。	妊娠中の周知	知らなかった	知っていた	未入力		
			25	413	4		
	マタニティマークを身につけたりするなど利用したことがありますか。	妊娠中の利用	利用したことがある	利用したことはない	未入力		
			361	50	2		
		支援不要	自ら対処可能	保健機関 継続支援	機関連携支援	状況確認	未入力
		436	4	0	0	2	0
	子の要因(発達)	358	47	0	1	36	0
	子の要因(その他)	396	22	6	5	13	0
	親、家庭の要因	439	3	0	0	0	0
	親子関係 実件数	313	70	6	3	50	0

R6年度追加項目

パートナーは協力して家事・育児をしている	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	未入力
	345	70	15	8	4
妊娠中、お父さんのお父さん(パートナー)は喫煙をしていますか。	父(パートナー)	なし	あり	本数合計	本数回答者
		324	116	1352	108

疾病の発見(医科)

発育		97パーセンタイル超	90パーセンタイル超	90～10パーセンタイル	10パーセンタイル未満	3パーセンタイル未満	未入力
	体重	16	22	411	27	11	0
	身長	7	21	372	57	30	0
		所見なし	1～2階級	2階級超	未入力		
	身体発育不良	344	130	3	10		
運動発達		所見なし	所見あり	未入力			
	歩行の遅れ	480	7	0			
	胸部・脊柱の変形	486	0	1			
	歩容	482	5	0			
	O脚	480	5	2			
精神発達	手の使い方が未熟	483	3	1			
	発語の遅れ	450	37	0			
	視線が合わない	483	3	1			
感覚器	指示理解の遅れ	482	3	2			
	多動	484	1	2			
	斜視	487	0	0			
消化器	聴覚異常	487	0	0			
	腹部腫瘍	487	0	0			
	臍ヘルニア	487	0	0			
泌尿生殖器	停留精巣(男児)	254	3	0			
皮膚	そけいヘルニア	487	0	0			
	アトピー性皮膚炎	474	13	0			
	皮膚疹	487	0	0			

疾病の発見(歯科)

う蝕		総本数	処置歯数	未入力			
	う蝕数	5	0	0			
	う蝕罹患型	O1型	O2型	A型	B型	C型	未入力
		260	224	2	0	1	0
口腔		なし	あり	未入力			
	歯列・咬合異常	476	11	0			
	軟組織異常	472	15	0			
	その他異常	465	22	0			
	歯垢付着	484	3	0			

保健指導・支援

生活習慣・食習慣	朝食	ほぼ毎日食べる	週4～5日食べる	週2～3日食べる	ほとんど食べない	未入力				
		455	12	11	7	2				
	就寝時間	9時前	9時台	1時台	11時以降	未入力				
		190	214	64	13	6				
	メディアの視聴	いいえ	はい	未入力						
		336	147	4						
	おやつ回数	3回未満	3回以上	未入力						
		421	66	0						
	甘いおやつを食べる習慣	ない	ある	未入力						
		421	66	0						
口腔機能	甘い飲み物を飲む習慣	ない	ある	未入力						
		405	82	0						
	母乳を飲みながら寝る習慣	ない	ある	未入力						
		432	55	0						
	哺乳瓶で飲みながら寝る習慣	ない	ある	未入力						
		441	45	1						
	歯みがき	保護者が仕上げみがきをしている	保護者のみでみがく	子どもだけでみがく	みがかない	未入力				
		319	158	6	4	0				
	飲み込み	ない	時々ある	いつもある	未入力					
		268	207	12	0					
健康や親子・問診項目	食事のときに足裏が床についている	はい	いいえ	未入力						
		400	87	0						
	水分を飲むときに使用するもの	コップ	ストローマグ	その他	未入力					
		297	190	0	0					
	子育ての相談相手	いる	いない	未入力						
		474	11	2						
	ゆったりとした気分で子どもと過ごす	はい	いいえ	何ともいえない	未入力					
		380	10	93	4					
	現在、あなた（お母さん）は喫煙をしていますか。	母	なし	あり	本数合計	本数回答者	未入力			
			466	18	187	18	3			
現在、お子さんのお父さんは喫煙をしていますか。	父	なし	あり	本数合計	本数回答者	未入力				
		335	144	1502	129	8				
健康や親子・問診項目	事故防止（浴室）	はい	いいえ	該当しない	未入力					
		333	140	12	2					
	予防接種	四種混合	はい	いいえ	未入力					
			479	8	0					
	麻しん・風しん	はい	いいえ	未入力						
			454	33	0					
	この地域で、今後も子育てをしていきたいですか。	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	未入力				
		347	116	10	9	5				
	お子さんのお父さんは、育児をしていますか。	よくやっている	時々やっている	ほとんどしない	何ともいえない	未入力				
		0	0	0	0	487				
あなたは、お子さんに対して、育てにくさを感じていますか。	育てにくさ	いつも感じる	時々感じる	感じない	未入力					
		5	81	396	5					
育てにくさを感じた時に、相談先を知っているなど、何らかの解決する方法を知っていますか。	対処方法	はい	いいえ	未入力						
		62	17	7						
健康や親子・問診項目	子どもの社会的性の発達過程	はい	いいえ	未入力						
		464	18	5						
	この数か月の間に、ご家庭で以下のことがありましたか。	しつけのし過ぎがあった（はい）	感情的に叩いた（はい）	乳幼児だけを家に残して外出した（はい）	長時間食事を与えなかった（はい）	感情的な言葉で怒鳴った（はい）	子どもの口をふさいだ（はい）	子どもを激しく揺さぶった（はい）	該当なし（はい）	未入力
		4	6	1	0	45	2	1	433	2
	子育て支援	支援不要	自ら対処可能	保健機関継続支援	機関連携支援	状況確認	未入力			
		子の要因（発達）	245	67	14	4	157	0		
		子の要因（その他）	427	41	1	1	17	0		
		親・家庭の要因	467	12	5	3	0	0		
		親子関係	476	10	0	1	0	0		
		案件数	210	94	14	4	165	0		

R6年度追加項目

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえば思わない	そう思わない	未入力
パートナーは協力して家事・育児をしている	346	112	13	9	7

3歳児健康診査 基本情報 集計項目

集計基準日: 2025/4/1

別表 3

～ 2026/3/31

疾病の発見(医科)

発育	肥満度	ふとりすぎ 4	ややふとりすぎ 10	ふとりぎみ 20	ふつう 556	やせ 1	やせすぎ 0	未入力 1
		所見なし	10 パーセントイル未満	3パーセントイル未満	未入力			
	低身長	462	73	57	0			
		所見なし	1～2階級	2階級超	未入力			
	身体発育不良	396	184	0	12			
運動 発達		所見なし	所見あり	未入力				
	胸郭・脊柱の変形	591	0	1				
	歩容	586	3	3				
	O脚	591	1	0				
精神 発達	母指と示指で輪ができない	544	26	22				
	発語の遅れ	519	71	2				
	視線が合わない	570	19	3				
	指示理解の遅れ	565	22	5				
皮膚	多動	569	18	5				
	吃音	584	3	5				
	アトピー性皮膚炎	573	16	3				
	板瘡待跡	587	0	5				
感覚器	視覚検査	異常なし	管理中	異常の疑いあり	未入力			
		408	12	92	80			
	聴覚検査	異常なし	主治医管理	異常の疑い (聴覚の疑い (聴覚性や耳炎等)	異常の疑い(聴覚等)	未入力		
		503	1	1	42	45		

疾病の発見(歯科)

う蝕	う蝕数	総本数 62	処置歯数 0	未入力 0				
	う蝕罹患型	O型 571	A型 15	B型 5	C1型 0	C2型 1	未入力 0	
口腔	歯列・咬合異常	なし 546	反対咬合 (下顎前突)	上顎前突 (過蓋咬合)	開咬 9	その他 8	未入力 0	
	軟組織異常	なし 585	小帯 6	歯肉 1	その他 0	未入力 0		
			あり	未入力				
	歯の形態・歯数異常	571	21	0				
	その他異常	592	0	0				
	歯垢付着	587	5	0				
口腔 習癖	指しゃぶり・おしゃぶり	なし 576	あり 16	未入力 0				

保健指導・支援

生活習慣・食習慣	朝食	ほぼ毎日食べる 556	週4～5日食べる 21	週2～3日食べる 9	ほとんど食べない 4	未入力 2		
	就寝時間	9時前 137	9時台 318	10時台 114	11時以降 12	未入力 11		
	メディアの視聴	いいえ 312	はい 264	未入力 16				
	排泄の自立	できる 172	手伝えばできる 245	できない 174	未入力 1			
	おやつ回数	3回未満 488	3回以上 104	未入力 0				
	甘いおやつを食べる習慣	ない 386	ある 206	未入力 0				
	甘い飲み物を飲む習慣	ない 404	ある 188	未入力 0				
	母乳を飲みながら寝る習慣	ない 584	ある 8	未入力 0				
	哺乳ビンで飲みながら寝る習慣	ない 569	ある 23	未入力 0				
	歯みがき	親が仕上げみがきをする 471	親だけでみがく 117	子どもだけでみがく 3	ほとんどみがかない 1	未入力 0		
口腔機能	飲み込めない・かまずに丸飲み	ない 456	時々ある 132	いつもある 4	未入力 0			
	食事のときに足裏が床についている	はい 480	いいえ 110	未入力 2				
	口を閉じて食べる	はい 543	いいえ 48	未入力 1				
健やか親子・問診項目	子育ての相談相手	いる 569	いない 22	未入力 1				
	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる	はい 439	いいえ 27	何ともいえない 122	未入力 4			
	現在、あなた(お母さん)は喫煙をしていますか。	母	なし 560	あり 30	本数合計 390	本数回答者 28	未入力 2	
	現在、お子さんのお父さんは喫煙をしていますか。	父	なし 408	あり 167	本数合計 1585	本数回答者 133	未入力 17	
	事故防止(転落)	はい 557	いいえ 31	未入力 4				
	この地域で、今後も子育てをしていきたいですか。	そう思う 436	どちらかといえばそう思う 132	どちらかといえばそう思わない 14	そう思わない 3	未入力 7		
	お子さんのお父さんは、育児をしていますか。	よくやっている 0	時々やっている 0	ほとんどしない 0	何ともいえない 0	未入力 592		
	あなたは、お子さんに対して、育てにくさを感じていますか。	育てにくさ 511	いつも感じる 79	時々感じる 154	感じない 428	未入力 2		
	育てにくさを感じた時に、相談先を知っているなど、何らかの解決する方法を知っていますか。	対処方法 119	はい 119	いいえ 30	未入力 13			
	子どもの社会性の発達過程	はい 511	いいえ 79	未入力 2				
	この数か月の間に、ご家庭で以下のことがありましたか。	しつけのし過ぎがあった(はい) 13	感情的に叩いた(はい) 31	乳幼児だけを家に置いて外出した(はい) 1	長時間食事を与えなかった(はい) 0	感情的な言葉で怒鳴った(はい) 134	該当なし(はい) 440	未入力 2
	子どものかかりつけ医	医師 469	はい 469	いいえ 59	何ともいえない 32	未入力 32		
		歯科医師 239	239	281	36	36		
		支援不要	自ら対処可能	保健機関 継続支援	他機関 連携支援	状況確認	未入力	
子育て支援	子の要因(発達)	396	79	16	18	83	0	
	子の要因(その他)	520	66	0	0	6	0	
	親・家庭の要因	578	10	1	1	2	0	
	親子関係	585	6	0	0	1	0	
	案件数	344	125	15	18	90	0	

R6年度追加項目

パートナーは協力して家事・育児をしている	そう思う 409	どちらかといえばそう思う 141	どちらかといえばそう思わない 23	そう思わない 9	未入力 10
----------------------	----------	------------------	-------------------	----------	--------

【精密検査受診結果】

令和7年度

健診	3 か月児健診						1 歳 6 か月児健診						3 歳児健診								
健診受診状況	対象者数	受診者数	受診結果			(再) 他院紹介	未受診	対象者数	受診者数	受診結果			(再) 他院紹介	未受診	対象者数	受診者数	受診結果			(再) 他院紹介	未受診
			異常なし	要観察・異常あり	病名など					異常なし	要観察・異常あり	病名など					異常なし	要観察・異常あり	病名など		
骨関節疾患	65	60	46	14	・開排制限(13) ・不明(1)	1	5	6	4	3	1	・0脚両下腿内反(1)	1	2	6	5	4	1	・外反膝(1)	0	1
泌尿器腎疾患	0							0						8	7	2	5	・尿潜血±(1) ・血尿の疑い(1) ・無症候性血尿(2) ・無症候性血尿の疑(1)	0	1	
眼 科	1	1	0	1	・偽内斜視疑(1)	0	0	1	0	0	0		0	1	107	77	19	58	・両側乱視(8) ・左乱視(1) ・右乱視(1) ・両側遠視(3) ・両側近視(3) ・両側乱視、両側遠視(11) ・両側弱視(1) ・外斜視(2) ・間歇性外斜視(1) ・両側弱視、両側乱視(1) ・両側乱視、両側近視(2) ・左弱視、左遠視(1) ・両側乱視、両側遠視、間歇性外斜視(1) ・両側乱視、遠視、近視(1) ・左乱視、遠視、右近視、斜視疑(1) ・両側外斜視、両側乱視(1) ・低視力(1) ・視力左右差(1) ・眼瞼内反(2) ・右睫毛内反(1) ・アレルギー(1) ・検査不可(12) ・不明(1)	9	30
耳鼻科	1	1	1	0		0	0	0						47	22	17	5	・左難聴(1) ・左難聴、左滲出性中耳炎(1) ・両側滲出性中耳炎(1) ・急性中耳炎(2)	0	25	
その他	3	3	0	3	・体重増加不良(1) ・体重増加不良(1) ・左足背乳児血管腫(1)	1	0	8	6	1	5	・頭囲拡大(1) ・言語発達遅滞(3) ・言語発達遅滞、ASD疑い(1)	0	2	23	19	3	16	・ASD(1) ・発達障害の疑(1) ・言語発達遅滞(6) ・言語発達遅滞の疑(1) ・言語発達遅滞、精神発達障害(1) ・ADHDの疑(1) ・低身長(3) ・低身長・低体重(1) ・包茎(1)	1	4
合計	70	65	47	18		2	5	15	10	4	6		1	5	191	130	45	85		10	61

紹介先

・不明(1)→あいち小児保健医療総合センター

・0脚両下腿内反(1)→あいち小児保健医療総合センター

・左足背乳児血管腫(1)→西尾市民病院

・両側弱視、両側乱視(1)→加藤眼科
 ・両側乱視(3)→加藤眼科
 ・両側近視(1)→不明
 ・両側外斜視、両側乱視(1)→加藤眼科
 ・両側乱視、両側遠視(1)→碧南市民病院
 ・両側乱視(1)→碧南市民病院
 ・不明(1)→加藤眼科
 ・言語発達遅滞の疑(1)→三河青い鳥療育センター

第2 各種予防接種事業

1 予防接種の歩み

- 昭和 37 年 インフルエンザ予防接種集団接種開始、勧奨接種
- 昭和 41 年 定期予防接種（5 種類）ジフテリア・百日咳（2 種混合）・急性灰白髄炎・種痘・腸パラチフス・ジフテリア
- 昭和 44 年 ジフテリア・百日咳（2 種混合）に破傷風を加えて 3 種混合となる
腸パラチフス予防接種廃止
- 昭和 45 年 予防接種対象者全員に問診票、体温測定（37℃以上中止）および胸部聴打診開始
- 昭和 46 年 日本脳炎予防接種対象者の変更（小学 2 年生・中学 1 年生）
- 昭和 49 年 予防接種小委員会発足
種痘予防接種について第 1 期 2 歳以上は中止
（安城更生病院小児科部長の協力を得て、年長児について L c ワクチンにて実施）
- 昭和 50 年 3 種混合予防接種による死亡事故が県内にあり 2 月より中止、10 月より百日咳を除く 2 種混合にて再開
種痘予防接種中止
予防接種事故対策委員会設置
- 昭和 51 年 予防接種法改正（対象疾病 10 種類）
定期予防接種（6 種類）痘そう・百日咳・ジフテリア・急性灰白髄炎・麻疹・風しん
一般的臨時予防接種（3 種類）インフルエンザ・日本脳炎・ウイルス病
緊急的臨時予防接種
痘そう・コレラ及び厚生大臣が定める疾病
定期一般的臨時予防接種が義務接種となる
義務違反の罰則は、緊急的臨時予防接種に限定された
新保健センター設立に伴い各公民館で実施していた予防接種を保健センターにて統一会場として 1 月 13 日より開始する
予防接種相談コーナー開設
ジフテリア第Ⅲ期廃止になり、第Ⅳ期が繰り上がる
- 昭和 52 年 9 月インフルエンザ予防接種実施要領変更（接種間隔・接種量）
1 月より風しん予防接種開始（中学 2 年生女子・中学 3 年生女子の一部）

- 昭和 53 年 1 2 月より麻しん予防接種開始
(集団的個別接種方法により保健センターにて実施)
- 昭和 54 年 百日咳患者の発生が見られ 5 月より百日咳を含むジフテリア・百日咳・破傷風
(3 種混合) を再開
- 昭和 55 年 8 月痘そう撲滅宣言 (WHO) により廃止
ポリオ投与量の変更 1 m l → 0. 0 5 m l
- 昭和 56 年 ジフテリア・百日咳・破傷風混合新ワクチン (沈降性) にて実施
- 昭和 57 年 自動噴射式注射機 (ハイジェッター) にて予防接種実施
園児・小・中学生に使用 (インフルエンザ・日本脳炎)
- 昭和 58 年 日本脳炎予防接種を園児に保健センターで実施
- 昭和 59 年 自動噴射式注射機は中学生のみに使用
- 昭和 60 年 ジフテリア第Ⅲ期ワクチンをジフテリア単味より、ジフテリア・破傷風の 2 種
混合 (液状) に変更する
- 昭和 62 年 8 月インフルエンザ予防接種について、保護者の同意方式にて実施通達あり
8 月自動噴射式注射機の使用禁止の通達あり、全面的に中止する
- 昭和 63 年 麻しん予防接種、平成元年 3 月まで保健センターにて実施
- 平成元年 麻しん・おたふくかぜ、風しん新 3 種混合 (MMR)、9 指定医療機関にて実
施 (個別接種開始) 接種期間は、5 月と 1 0 月
日本脳炎予防接種ワクチンが中山予研株から北京株に変更
接種量の変更 1 m l → 0. 5 m l
集団接種禁忌者を碧南市民病院へ接種依頼開始
- 平成 2 年 MMR ワクチンによる無菌性髄膜炎の発生頻度が高いため原則とし、麻しんワ
クチンを接種するよう通達あり、麻しんワクチンを主に実施し、希望者のみ
MMR を実施
- 平成 3 年 2 種混合ワクチンを液状より沈降性に変更
- 平成 4 年 3 種混合の接種開始年齢を 2 歳から 1 歳 5 か月に変更する
麻しんは 9 指定医療機関にて、7・8 月を除く毎月実施となる
- 平成 5 年 MMR ワクチン接種については当面、実施を見合わせるように通達あり、全面
的に中止
麻しん指定医療機関 9 機関→8 機関
- 平成 6 年 1 0 月予防接種法の大改正 (実施は、平成 7 年度より)
義務接種→勧奨接種、問診票→予診票、集団接種→個別接種の推奨
定期予防接種 (7 種類) ジフテリア・百日咳・急性灰白髄炎・麻しん・風しん・

日本脳炎・破傷風

臨時予防接種は、疾病の蔓延予防上、緊急の必要があると認められた場合に知事が接種対象者、接種期間を指定して行う（想定される疾病はない）

インフルエンザ予防接種中止

接種対象年齢変更 接種対象年齢が生後90月（7歳6か月）未満となる

「予防接種ガイドライン」が策定される それに伴い碧南市予防接種診断基準の見直しを行う

10月結核予防法の改正（実施は、平成7年度より）

ツベルクリン反応判読基準の変更

陰性4mm以下→9mm以下、陽性10mm以上とし、擬陽性はなし

BCGは、義務接種→勧奨接種

平成7年 麻しんは、8指定医療機関で、通年実施となる

風しん予防接種

1歳2か月児を対象に接種開始

経過措置として

小学1年生全員を対象に接種開始（平成11年度まで実施）

中学生への接種は、男子も接種対象となる（平成15年度まで実施）

日本脳炎予防接種の対象学年の変更

小学2年生→小学4年生、中学1年生→中学3年生

平成8年 麻しん指定医療機関 8機関→9機関

平成9年 麻しん指定医療機関 9機関→7機関

平成11年 3種混合予防接種開始年齢を1歳5か月から生後6か月に変更する

風しん予防接種

経過措置対象者（小学生）への学校での接種終了

平成12年 5月から6月の（2回分）のポリオ予防接種は、厚生省の通達により見合わせる（接種後に副反応と思われる症例2例発生のため）

平成13年 11月7日予防接種法改正、定期予防接種の二類疾病として高齢者インフルエンザ予防接種開始（個別接種により市内25医療機関）

風しん予防接種

経過措置対象者（中学生）への学校での接種終了

平成14年 インフルエンザ指定医療機関 25機関→26機関

風しん予防接種

経過措置対象者（昭和54年4月2日から昭和62年10月1日生）の方へ

- 再度接種勧奨をする（広報掲載）
乳幼児の接種日に同時実施
1 2月結核予防法施行令一部改正（実施は平成15年4月から）
児童・生徒のツベルクリン反応検査及びBCG接種廃止
- 平成15年 風しん予防接種
経過措置対象者への接種終了（9月30日まで）
日本脳炎第2期・第3期及び2種混合第2期の予備日接種会場の変更
学校→保健センター
- 平成17年 4月ツベルクリン反応を実施しないBCG直接接種開始
BCG対象者の変更 4歳未満→生後6か月未満
5月日本脳炎予防接種の積極的勧奨の差し控え
現行ワクチン使用による重症ADEM（急性散在性脳脊髄炎）との因果関係
が認められたため積極的勧奨を差し控える通知あり見合わせる
7月予防接種法施行令等の一部改正
ジフテリア・破傷風・百日咳の定期予防接種
使用ワクチンが3種混合ワクチンのみとなる
日本脳炎予防接種第3期の廃止
麻しん風しんの定期予防接種の対象年齢等の変更（施行日18年4月1日）
第1期 1歳から2歳未満 MRワクチン1回接種
第2期 5歳以上7歳未満 MRワクチン1回接種
接種期間は小学校へ入学する前年度4月1日から3月31日
接種間隔の変更
生ワクチンから他種類のワクチンを接種する場合
4週間以上→27日以上
不活化ワクチンから他種類のワクチンを接種する場合
1週間以上→6日以上
- 平成18年 4月麻しん風しん混合ワクチン（MR）の導入と2回接種制度開始（第2期
は単抗原ワクチン対象者は除外する）
風しん・2種混合第2期が集団接種から個別接種へ変更
麻しん風しん指定医療機関 7機関→8機関
6月麻しん風しん第2期の対象変更（単抗原ワクチン接種者も対象となる）
接種開始は7月
- 平成20年 中学1年生（第3期）及び高校3年生（第4期）に相当する年齢のものに2回

目の麻しん風しん混合ワクチンの予防接種を5年間の時限措置として実施
(第3期、第4期については、市内13指定医療機関で対応)

平成21年 平成21年6月2日から乾燥細菌培養日本脳炎ワクチンの使用による予防接種を、今まで一度も接種をしていない第1期対象者について希望される者に接種開始

平成22年 11月1日から日本脳炎第2期について希望される者に、接種開始
日本脳炎の第1期接種の標準的年齢となる3歳児への積極的勧奨の開始

平成23年 日本脳炎の積極的勧奨の対象者の拡大
平成23年度9歳・10歳になるもので、第1期の不足分について勧奨
平成23年1月11日から「子宮頸がんなどワクチン接種緊急促進事業の実施要領」に基づき、子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン接種を平成25年3月30日の時限措置で実施

平成24年 日本脳炎の積極的勧奨の対象者の拡大
平成24年度8歳・9歳になるもので、第1期の不足分について勧奨
平成24年9月1日から、ポリオの予防接種が生ワクチンから不活化ワクチンに変わり、集団接種から個別接種に変更。3種混合予防接種も個別接種に変更する
平成24年11月1日より4種混合(百日せき・ジフテリア・破傷風・ポリオ)の予防接種開始

平成25年 4月から子宮頸がん予防ワクチン(2価・4価)、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン接種が定期予防接種となる
平成25年6月14日付で、厚生労働省より「ヒトパピローマウイルス感染症の定期接種に対応について」勧告があり、積極的勧奨を差し控える
4月からBCG予防接種の接種対象月齢が、「生後6月から1歳に達するまで」に変更される
6月から妊婦などが風しんに罹患することを防ぎ、先天性風しん症候群の発生防止のために、風しんワクチン予防接種助成事業を開始する
7月から後期高齢者医療広域連合被保険者に対して高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成事業を開始する。
日本脳炎の積極的勧奨の対象者の拡大
平成25年度8歳になるもので、第1期の不足分について勧奨
第2期として、平成7年度から平成10年度生まれの者に勧奨

平成26年 定期予防接種がすべて個別接種となる

- 10月から水痘ワクチン、高齢者肺炎球菌ワクチン接種が定期予防接種となる
- 平成27年 7月から子宮頸がん予防ワクチン接種後の症状に係る医療支援事業を開始
- 平成28年 10月からB型肝炎ワクチンが定期予防接種となる
- 令和元年 4月1日で子宮頸がん予防ワクチン接種後の症状に係る医療支援事業終了
令和元年度から3年間にかぎり、風しん第5期の予防接種開始
- 令和2年 10月からロタウイルスワクチンが定期予防接種となる
中学3年生に対するインフルエンザ予防接種費用助成実施
- 令和3年 2月から新型コロナウイルスワクチンの初回接種（1・2回目接種）が臨時予防接種となる。
2月から医療従事者向け先行接種、3月から一般の医療従事者向け優先接種開始
5月から優先順位に基づく一般接種の開始（個別医療機関）
6月から集団接種の開始（碧南市民病院）
12月から追加接種（3回目接種）
- 令和4年 1月から、5歳から11歳に対する新型コロナウイルスワクチンの初回接種（1・2回目接種）が特例承認される
4月から令和3年11月26日付で、厚生労働省より「ヒトパピローマウイルス感染症に係る定期接種の今後の対応について」通知があり積極的勧奨を再開
風しん第5期予防接種が令和7年3月31日までの時限措置となる
- 令和5年 4月1日からジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎及び破傷風の定期予防接種の対象者について、沈降性ジフテリア破傷風混合トキソイドとして接種する場合を除き、「生後2月以上」となる。また、ヒトパピローマウイルス感染症に係る定期予防接種の実施方法として、9価ワクチンによる2回接種及び3回接種が導入となる
高齢者肺炎球菌ワクチンの特例が終了となる
- 令和6年 新型コロナウイルスワクチンが、予防接種法施行令の改正により、定期予防種（B類疾病）に追加となる
4月1日から定期接種のワクチンに5種混合（百日せき・ジフテリア・破傷風・ポリオ・ヒブ）、小児の肺炎球菌感染症15価ワクチンが導入となる
10月1日から定期接種のワクチンに小児の肺炎球菌感染症20価ワクチンが導入され、13価ワクチンが終了となる
- 令和7年 ヒトパピローマウイルスワクチンのキャッチアップ接種に係る経過措置の実施

5月1日から定期接種（B類疾病）に带状疱疹が追加となる

7月1日から带状疱疹任意予防接種費助成事業の申請受付開始となる

4種混合ワクチンの販売が終了となる

令和 8 年 3月31日でヒトパピローマウイルスワクチンの2価・4価が定期接種の取扱い
終了となる

2 定期予防接種（A類疾病）

令和7年度予防接種実施状況での報告数 令和8年4月末現在

(1) ロタウイルス感染症

	対象者数（人）	被接種者数（人）		接種率（%）
		1価	5価	
1回目	435	58(48)	376(372)	99.8
2回目	435	58(49)	363(362)	96.8
3回目	435		370(369)	85.1

※ 対象者数は、新規対象者数、（）内は、当該年度碧南市内での接種数

(2) B型肝炎

	対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（%）
1回目	435	435(422)	100.0
2回目	435	424(414)	97.5
3回目	435	435(433)	100.0

※ 対象者数は、新規対象者数、（）内は、当該年度碧南市内での接種数

(3) 小児の肺炎球菌感染症

	対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（%）
初回1回目	435	436(423)	100.2
2回目	435	429(419)	98.6
3回目	435	442(435)	101.6
追加	435	453(448)	104.1

※ 対象者数は、新規対象者数、（）内は、当該年度碧南市内での接種数

(4) 5種混合 第1期（百日咳・ジフテリア・破傷風・ポリオ・ヒブ感染症）

	対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（%）
初回1回目	435	436(423)	100.2
2回目	435	429(419)	98.6
3回目	435	436(429)	100.2
追加	435	467(463)	107.3

※ 対象者数は、新規対象者数、（）内は、当該年度碧南市内での接種数

(5) 4種混合 第1期 (百日咳・ジフテリア・破傷風・ポリオ)

	対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
初回1回目	—	0(0)	—
2回目	—	1(1)	—
3回目	—	2(2)	—
追加	—	163(163)	—

※ 対象者数は、新規対象者数、 () 内は、当該年度碧南市内での接種数

(6) 3種混合 第1期 (百日咳・ジフテリア・破傷風)

	対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
初回1回目	—	0(0)	—
2回目	—	0(0)	—
3回目	—	0(0)	—
追加	—	14(14)	—

※ 対象者数は、新規対象者数、 () 内は、当該年度碧南市内での接種数

(7) 急性灰白髄炎 (ポリオ)

	対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
初回1回目	—	1(1)	—
2回目	—	1(1)	—
3回目	—	1(1)	—
追加	—	13(13)	—

(8) ヒブ感染症

	対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
初回1回目	—	1(1)	—
2回目	—	0(0)	—
3回目	—	0(0)	—
追加	—	16(16)	—

※ 対象者数は、新規対象者数、 () 内は、当該年度碧南市内での接種数

(9) 2種混合 第2期 (ジフテリア・破傷風)

対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
678	586(584)	86.4

※ 対象者数は、新規対象者数、 () 内は、当該年度碧南市内での接種数

(10) 結核

対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
437	430 (427)	98. 4

※ 対象者数は、新規対象者数、 () 内は、当該年度碧南市内での接種数

(11) 麻しん風しん

	対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
第 1 期	487	468 (462)	96. 1
第 2 期	616	568 (567)	92. 2

※ 対象者数は、第 1 期は当該年度 10 月 1 日現在での 1 歳児数、第 2 期は当該年度内に 6 歳になった者の数、 () 内は、当該年度碧南市内での接種数

(12) 水痘

	対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
1 回目	487	473 (467)	97. 1
2 回目	487	465 (459)	95. 5

※ 対象者数は、新規対象者数、 () 内は、当該年度碧南市内での接種数

(13) 日本脳炎

		対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
第 1 期	初回 1 回目	585	539 (537)	92. 1
	2 回目	585	541 (539)	92. 5
	追加	585	517 (512)	88. 4
第 2 期		651	616 (613)	94. 6

※ 対象者数は、新規対象者数、 () 内は、当該年度碧南市内での接種数

(14) ヒトパピローマウイルス感染症 (定期及び経過措置)

ア 定期

	対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
1 回目	1, 673	187 (185)	11. 2
2 回目	1, 673	196 (196)	11. 7
3 回目	1, 673	77 (77)	4. 6

※ 対象者数は、当該年度 10 月 1 日現在の対象年齢者数、
() 内は、当該年度碧南市内での接種数

イ 経過措置

	対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1回目	—	—	—
2回目	—	129(126)	—
3回目	—	184(180)	—

3 予防接種広域化実施状況

(単位：件)

予防接種種類	接種件数	予防接種種類	接種件数
ロタウイルス	17	結核	2
B型肝炎	18	麻疹風疹	6
小児の肺炎球菌感染症	26	水痘	10
5種混合	25	日本脳炎	10
2種混合	2	ヒトパピローマウイルス感染症	7

接種件数合計 123件

実人数 34人

(理由 かかりつけ医のため 29人、里帰り等で市外の病院で接種を希望 2人、
施設入所中のため 3人)

4 県外医療機関依頼実施状況

(単位：件)

予防接種種類	接種件数	予防接種種類	接種件数
ロタウイルス	8	麻疹風疹	1
B型肝炎	7	水痘	2
小児の肺炎球菌感染症	9	日本脳炎	2
5種混合	9	ヒトパピローマウイルス感染症	2
結核	1		

接種件数合計 41件

実人数 11人

(理由 里帰り中 6人、県外滞在中 3人、かかりつけ医のため 1人、その他 1名)

5 定期予防接種（B類疾病）

(1) インフルエンザ

(単位：人)

	60～64歳	65歳以上	計
対象者	31	17,776	17,807
指定医療機関接種者	16	8,916	8,932
広域接種等	0	251	251
総接種者	16	9,167	9,183
接種率（％）	51.6	51.6	51.6

(2) 高齢者の肺炎球菌感染症

(単位：人)

	60～64歳	65歳	計
対象者	0	678	678
指定医療機関接種者	0	240	240
広域接種等	0	2	2
総接種者	0	242	242
接種率（％）	0.0	35.7	35.7

(3) 新型コロナウイルス感染症

(単位：人)

	60～64歳	65歳	計
対象者	31	17,907	17,938
指定医療機関接種者	7	2,402	2,409
広域接種等	0	75	75
総接種者	7	2,477	2,484
接種率（％）	22.6	13.8	13.8

(4) 带状疱疹

ア 組換えワクチン1回目

(単位:人)

	60～64 歳	6 5 歳	7 0 歳	7 5 歳	8 0 歳
対象者	0	796	755	845	444
指定医療機関接種者	0	224	200	196	83
広域接種等	0	2	7	4	0
総接種者	0	226	207	200	83
接種率 (%)	0.0	28.4	27.4	23.7	18.7

	8 5 歳	9 0 歳	9 5 歳	100 歳以上	計
対象者	531	306	116	66	3,859
指定医療機関接種者	94	38	4	5	844
広域接種等	0	1	0	0	14
総接種者	94	39	4	5	858
接種率 (%)	17.7	12.7	3.4	7.6	22.2

イ 組換えワクチン2回目

(単位:人)

	60～64 歳	6 5 歳	7 0 歳	7 5 歳	8 0 歳
対象者	0	796	755	845	444
指定医療機関接種者	0	213	189	189	82
広域接種等	0	2	5	4	0
総接種者	0	215	194	193	82
接種率 (%)	0.0	27.0	25.7	22.8	18.5

	8 5 歳	9 0 歳	9 5 歳	100 歳以上	計
対象者	531	306	116	66	3,859
指定医療機関接種者	87	36	4	5	805
広域接種等	0	1	0	0	12
総接種者	87	37	4	5	817
接種率 (%)	16.4	12.1	3.4	7.6	21.2

ウ 生ワクチン

(単位:人)

	60～64 歳	6 5 歳	7 0 歳	7 5 歳	8 0 歳
対象者	0	796	755	845	444
指定医療機関接種者	0	52	36	54	30
広域接種等	0	0	2	2	0
総接種者	0	52	38	56	30
接種率 (%)	0.0	6.5	5.0	6.6	6.8

	8 5 歳	9 0 歳	9 5 歳	100 歳以上	計
対象者	531	306	116	66	3,859
指定医療機関接種者	33	11	6	3	225
広域接種等	1	1	0	0	6
総接種者	34	12	6	3	231
接種率 (%)	6.4	3.9	5.2	4.5	6.0

6 風しんワクチン接種費助成事業（任意接種）

(1) 目的

風しんの発病を予防し、妊婦が風しんに罹患することを防ぐとともに、先天性風しん症候群の発生の防止を目的とする。

(2) 対象者

予防接種時に市内に住所を有する者で、事前の抗体検査結果が風しんワクチン接種事業費補助金交付要綱の別表1の風しん抗体価に該当し、下記のいずれかに該当する者（ただし、既にこの事業により接種費用の助成を受けたことがある者及び風しんの罹患歴がある者は対象者とししない）

ア 妊娠を予定又は希望している女性で、予防接種時において妊娠していない者

イ 妊娠を予定又は希望している女性の配偶者（婚姻の届出をしないが事実上婚姻関係と同様の事情がある者を含む）又は同居者

ウ 妊娠をしている女性の配偶者又は同居者

(3) 実施期間

令和7年4月1日から令和8年3月31日

(4) 助成回数及び助成内容

一人あたり1回、接種費用の助成上限5,000円

(5) 実績

(単位：人)

	風しん ワクチン	麻しん風しん 混合ワクチン
ア 妊娠を予定又は希望している女性で、予防接種時において妊娠していない者	8	9
イ 妊娠を予定又は希望している女性の配偶者(婚姻の届出をしないが事実上婚姻関係と同様の事情がある者を含む)又は同居者	0	2
ウ 妊娠をしている女性の配偶者又は同居者	0	0

7 帯状疱疹任意予防接種費助成事業(任意接種)

(1) 助成の目的

任意の予防接種である帯状疱疹予防接種を希望する者に対し、帯状疱疹任意予防接種費助成金を交付することにより、当該予防接種に係る経済的負担を軽減し、帯状疱疹の発症及び重症化の予防を図る。

(2) 対象者

接種日において、碧南市に住民登録がある満50歳以上で、以下の条件に該当しない人

ア 定期予防接種の対象者

イ 定期予防接種で帯状疱疹を接種したことのある人

ウ 他の地方公共団体の公費を使用して、帯状疱疹ワクチン(乾燥弱毒生水痘ワクチンを1回又は乾燥組換え帯状疱疹ワクチンを2回)を接種したことがある人

(3) 実施期間

令和7年8月1日から令和8年3月31日

(4) 助成金の額及び助成回数

ア 乾燥弱毒生水痘ワクチン 1回4,000円

イ 乾燥組換え帯状疱疹ワクチン 1回10,000円を2回まで

(5) 実績

(単位：人)

	50～64歳	65歳以上
組換えワクチン1回目	79	68
組換えワクチン2回目	75	66
生ワクチン	4	16

第3 献血推進事業

1 献血推進の歩み

- 昭和 27 年 日本赤十字社が血液銀行を設置し血液事業を開始
- 昭和 39 年 輸血用血液を献血により確保する体制を確立するよう閣議決定
- 昭和 42 年 「碧南市健康を守る会」の発足と同時に献血部会をもうけて「碧南市献血グループ」結成
- 昭和 43 年 献血運動開始
- 昭和 46 年 「碧南市健康を守る会」愛知県知事表彰受賞
- 昭和 47 年 愛知県献血推進協議会に加盟
- 昭和 48 年 健康を守る会で感謝状・記念品の贈呈開始（30回以上）
- 昭和 49 年 「預血制度」が廃止され、輸血用血液はすべて献血でまかない得る体制が確立
- 「市民献血グループ」厚生大臣賞受賞
- 昭和 52 年 「企業団体献血グループ」愛知県知事表彰受賞
- 昭和 57 年 市民憲章推進協議会で感謝状・記念品の贈呈開始
- 昭和 61 年 400ml 献血と成分献血導入
- 平成 元年 感謝状・記念品の贈呈を健康を守る会は50回以上、市民憲章推進協議会は30回以上に変更
- 平成 6 年 感謝状・記念品の贈呈を健康を守る会は30回以上、市民憲章推進協議会は50回以上に変更
- 平成 9 年 感謝状・記念品の贈呈を市民憲章推進協議会は70回以上に変更
- 平成 19 年 市民憲章推進協議会の感謝状・記念品の贈呈事業の中止
- 令和 4 年 「市民献血グループ」愛知県知事表彰受賞

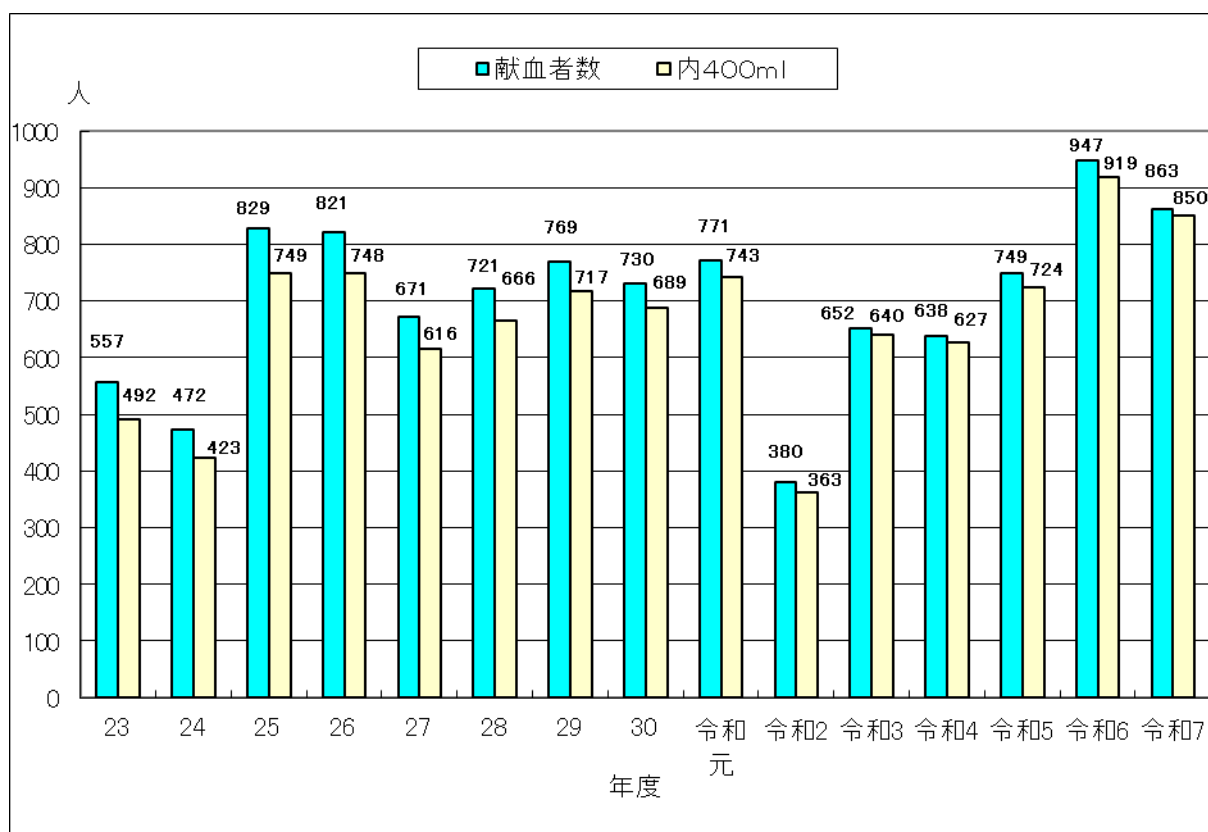
2 市民献血結果

(単位：人)

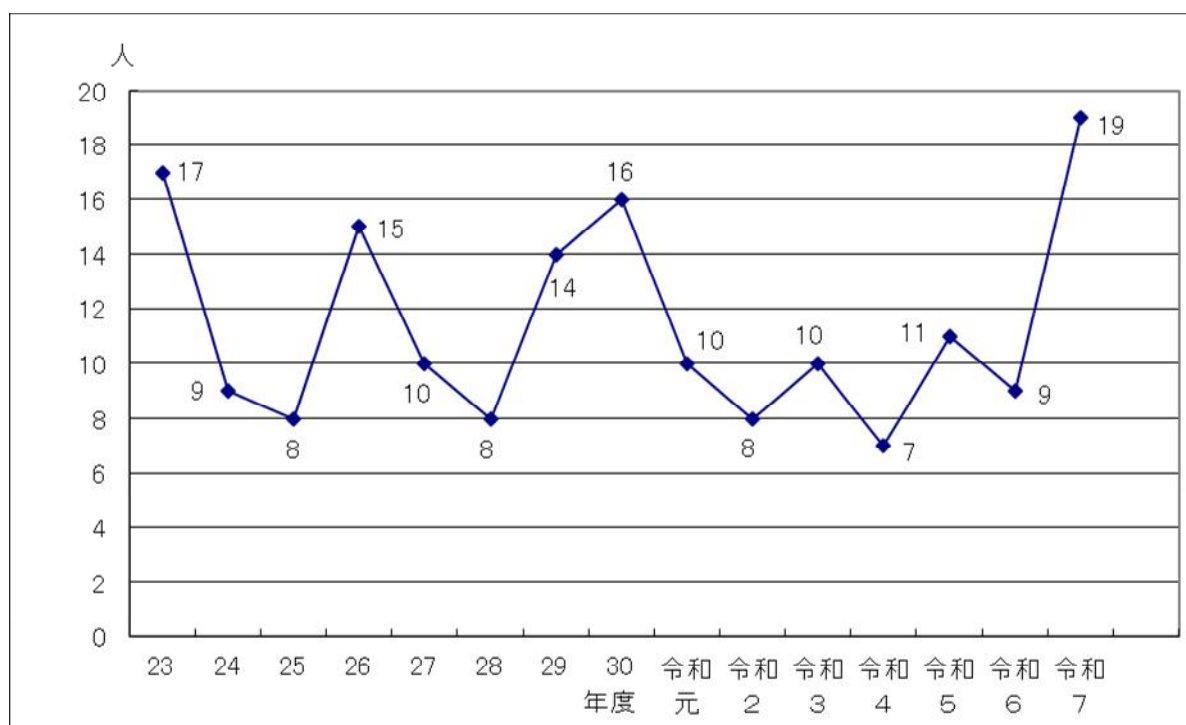
月・日 (曜日)	開催場所	受付	採血	内 400ml	内 200ml	不採血	備考
4月22日(火)	(株)アイシン 新川衣浦工場 衣浦サイト	26	22	22	0	4	企業献血
4月22日(火)	(株)アイシン 新川衣浦工場 新川サイト	22	21	21	0	1	企業献血
5月7日(水)	(株)アイシン 新川衣浦工場 新川サイト	19	16	16	0	3	企業献血
5月7日(水)	(株)アイシン 新川衣浦工場 衣浦サイト	25	23	23	0	2	企業献血
7月15日(火)	(株)JERA 碧南火力発電所	33	33	33	0	0	企業献血
7月16日(水)	碧南市役所 正面玄関	88	79	79	-	9	
8月22日(金)	日本コーンスターチ(株) 衣浦事業所	12	12	11	1	0	企業献血
8月25日(月)	碧南市立新川中学校	44	39	37	2	5	碧南市 教育委員会
9月5日(金)	愛知県中央信用組合 本店	34	28	26	2	6	
9月7日(日)	トヨタ自動車(株)衣浦工場 豊養会衣浦支部	135	126	126	0	9	企業献血
10月10日(金)	名古屋トヨペット(株)碧南店	50	41	41	0	9	企業献血
11月11日(火)	(株)アイシン 新川衣浦工場 新川サイト	23	21	21	0	2	企業献血
11月11日(火)	(株)アイシン 新川衣浦工場 衣浦サイト	26	24	24	0	2	企業献血
11月12日(水)	碧南市役所 正面玄関	78	68	68	-	10	
11月18日(火)	(株)アイシン 新川衣浦工場 新川サイト	20	19	19	0	1	企業献血
11月18日(火)	(株)アイシン 新川衣浦工場 衣浦サイト	24	22	22	0	2	企業献血

月・日 (曜日)	開催場所	受付	採血	内 400ml	内 200ml	不採血	備考
1月18日(日)	碧南営農センター	59	58	58	-	1	農業まつり
2月13日(金)	日本コーンスターチ(株) 衣浦事業所	9	9	7	2	0	企業献血
2月13日(金)	(株) J E R A 碧南火力発電所	29	29	29	0	0	企業献血
2月20日(金)	スギ製菓(株)	22	21	18	3	1	企業献血
3月6日(金)	愛知県中央信用組合 本店	22	19	17	2	3	
3月11日(水)	碧南市役所 正面玄関	75	66	66	-	9	
3月15日(日)	トヨタ自動車(株) 衣浦工場 豊養会衣浦支部	71	67	66	1	4	企業献血
	18日 延べ23会場	946	863	850	13	83	

3 碧南市献血事業における献血年度推移



4 碧南市健康を守る会の年度別表彰者数



第4 成人保健事業

1 成人保健事業の歩み

(1) 健康手帳の交付

昭和57年 65歳以上の者に健康手帳の送付を開始

平成11年 健康手帳の送付を中止

(2) 健康教育事業

ア 市民健康教育講座

昭和52年 市民健康教育講座を開始

イ 食生活改善学級

昭和53年 碧南市保健衛生推進員地区活動として開始

平成6年 食生活改善推進員養成のための栄養教室を開始

平成10年 食生活改善推進員養成のための栄養教室を隔年開催とする

ウ 健康づくりの集い

昭和59年 健康づくりの集いを開始

平成26年 健康づくりの集いを中止

エ 健康づくり体操講習会

平成元年 健康づくり体操講習会を開始

平成26年 健康づくり体操講習会を中止

オ 病態別健康教室

(ア) 貧血予防教室

平成7年 貧血予防のための栄養教室を開始

平成13年 貧血予防のための栄養教室を中止

(イ) 骨粗しょう症予防教室

平成7年 骨粗しょう症予防教室を開始

平成8年 骨コツ教室を開始

平成12年 骨粗しょう症予防教室を中止

平成15年 骨コツ教室を中止

(ウ) 高脂血症予防教室

平成7年 成人病予防（高脂血症予防）のための健康教室を開始

平成15年 高脂血症予防のための健康教室を中止、高脂血症個別健康教室を開始

(エ) 糖尿病予防教室

平成8年 糖尿病教室を開始

平成 13 年 糖尿病教室を中止、糖尿病個別健康教室を開始
平成 15 年 糖尿病個別健康教室を中止、糖尿病予防教室を実施
平成 16 年 糖尿病予防教室を中止、糖尿病個別健康教室を実施
平成 26 年 糖尿病予防プチ講座を開始
平成 27 年 糖尿病予防プチ講座をボディメンテナンス教室～糖尿病予防～に
変更し実施

(オ) 高血圧予防教室

平成 16 年 高血圧個別健康教室を開始

(カ) 生活習慣病予防教室

平成 18 年 高脂血症、糖尿病、高血圧を合わせて開始

平成 24 年 生活習慣病予防教室を中止

カ 女性の健康教室

平成 24 年 女性の健康教室を実施

キ 栄養教室

平成 9 年 中年男性のヘルシークッキング教室（男性のヘルシークッキング教室）
を開始

平成 15 年 60 歳以上の男性を対象とした「60 歳からの男性のヘルシークッキン
グ教室」を実施

平成 16 年 30 歳代から 40 歳代男性を対象とした「30 歳代から 40 歳代男性の
ヘルシークッキング教室」を実施

平成 17 年 男性対象の栄養教室を中止

平成 26 年 大人の食育講座を実施

平成 28 年 65 歳以上の男性対象に「男の料理塾」を開始

令和 7 年 「男の料理塾」を中止

ク 健康づくり教室

平成 6 年 ウォーキング健康教室を開始

平成 13 年 ヘルシーウォーキング教室に名称変更し、水中プログラムを取り入れ実
施

平成 15 年 太極拳教室を実施

これから始める男性の運動教室～かつこいい！からだづくり～を実施

平成 28 年 スリムアップ教室実施（愛知県国民健康保険団体連合会健康体操普及事
業）を単年実施

(3) 健康相談事業

ア 病態別健康相談

昭和 57 年 成人病健診受診者を対象に、病態別栄養指導（集団指導）を開始

平成 3 年 病態別栄養指導を集団指導から個別指導に変更

イ いきいき健康相談

平成 4 年 いきいき健康相談を 7 公民館で月 1 回開始

平成 17 年 保健センターを会場に週 1 回実施に変更

ウ 糖尿病栄養相談

平成 14 年 糖尿病栄養相談を開始

エ こころの健康相談

平成 22 年 こころの健康相談を地域自殺対策緊急強化基金事業として開始

平成 26 年 こころの健康相談を中止

2 健康手帳の交付

(1) 目的

特定健康診査・保健指導等の記録、その他健康の保持のために必要な事項を記載し、健康管理と適切な医療に資することを目的とする。

(2) 配布場所

保健センター、市内指定医療機関

(3) 対象

40 歳以上の市民

(4) 交付数

40 から 74 歳 465 冊

75 歳以上 622 冊

3 市民健康教育講座

日にち	演 題	講 師	受講人数 (人)
8 月 26 日 (火)	肺の運動をいしましょう	碧南市看護師会 石川 太朗 氏	66

日にち	演 題	講 師	受講人数 (人)
9 月 30 日 (火)	前立腺がんについて：病気の基礎 知識と最新の治療	碧南市民病院 診療部長 泌尿器科 平田 朝彦 氏	56
10 月 28 日 (火)	薬のモヤモヤ、スパッと解決！！	碧南市薬剤師会 村松 昌 氏	62
11 月 18 日 (火)	健康は健口から ～人生１００年時代 最期まで美味しく楽し く『食べる』ために健口寿命を伸ばそう～	碧南歯科医師会 高木 加代子 氏	51
12 月 9 日 (火)	女性の健康生活と産婦人科	碧南市民病院 齋藤 理 氏	41
1 月 27 日 (火)	アイフレイルって知ってますか？ 眼のチェックしてみましょう	碧南市医師会 中村 将一朗 氏	69

会場は、市役所談話室１・２・３（８月、９月、１０月、１１月）、大会議室（１２月、１月）

４ ボディメンテナンス教室～糖尿病予防～

(1) 目的

碧南市は特定健康診査の結果から、糖尿病に関連した有所見率が愛知県より男女とも高くなっている。糖尿病の発症・重症化予防を目的とし、糖尿病に関する正しい知識の提供、血糖値と関連の深い食習慣に重点をおいて生活習慣の改善を支援する。

(2) 場所

保健センター

(3) 時間

第１回 午後１時３０分から３時３０分

第２回 午前９時３０分から１２時３０分

第３回 午前１０時から１２時

(4) 対象

碧南市の令和６年度特定健康診査・生活習慣病予防健診受診者のうち、HbA1c（NGSP値）６％から６．４％の７０歳未満の服薬なしの者（個別通知）または血糖値が高めの一般成人の市民

(5) 日程・内容・参加人数

日 程	内容(講義と実技)	参加人数 (人)
5 月 29 日(木) 【1 回目】	・糖尿病とは(碧南市医師会 鈴木厚氏) ・オリエンテーション	13
6 月 27 日(金) 【2 回目】	・運動と休養について ・運動実践 ・血糖値を改善する食事 ・糖尿病予防のバランスランチ試食	13
個別面談【1 回目】	・アクティマーカー、食事調査結果説明と目標設定	14
個別面談【2 回目】	・生活改善状況等の確認	14
10 月 24 日(金) 【3 回目】	・歯周病と糖尿病の関係 ・目標の振り返りとグループワーク ・果物バイキングと間食について ・血糖値改善ポイント個別配布	13

5 他機関からの依頼による健康教室

種 別	実施回数 (回)	参加人数 (人)	担 当
職域出前講座等	2	76	保健師、栄養士
地域包括支援センター	2	19	保健師、栄養士、歯科衛生士
老人クラブ出前講座	2	61	保健師、栄養士、歯科衛生士
まちかどサロン	1	10	保健師
出前講座	10	243	保健師、栄養士、歯科衛生士
計	17	409	

6 健康相談

(1) 目的

心身の健康に関する個別の相談に応じ、健康管理に資することを目的とする。

(2) 内容・実施日

ア いきいき健康相談 毎週月曜日 午前9時から11時30分

イ 電話・面接・家庭訪問による相談 随時

(3) 実施状況

種 別	延人数 (人)	実施回数 (回)
いきいき健康相談	1	1
電話相談	30	随時
面接相談	12	
家庭訪問	0	

7 病態別健康相談

(1) 目的

生活習慣や食生活の改善等の相談に応じ、疾病の予防と健康の保持増進を図る。

(2) 実施日

毎週木曜日 午後1時から3時

(3) 対象

生活習慣病予防健診受診者、医療機関より紹介された者、相談希望者、特定保健指導対象者

(4) 従事者

管理栄養士、保健師

(5) 実施状況

主内容	相談者数(人)
肥 満	4
糖尿病	10
高血圧	3
脂質異常症	16
貧 血	3
高尿酸血症	4
肝臓病	2
腎臓病	1
消化器系	0
その他	7
計	50

8 糖尿病・高血圧栄養相談

(1) 目的

糖尿病・高血圧の発症・重症化による合併症予防を目的とし、糖尿病・高血圧に関する信頼性の高い知識の周知と、食生活を中心に生活習慣の改善を支援する。

(2) 実施日

毎月第2・4木曜日 午前9時から12時（相談者の状況により応相談）

(3) 対象

医療機関より紹介された者、相談希望者

碧南市の令和6年度特定健康診査のうち、HbA1c（NGSP 値）6.5%以上で服薬なしの者（個別通知）

碧南市の令和7年度特定健康診査のうち、収縮期血圧が130mmHg以上で服薬なしの者（個別通知）

(4) 内容

糖尿病・高血圧個別栄養相談、食事調査

(5) 従事者

管理栄養士

(6) 実施状況

（単位：人）

	相談動機						計	
	広報等		医療機関紹介		個人通知			
	新規	再来	新規	再来	新規	再来	新規	再来
人数	4	4	1	1	31	14	36	19

9 生活習慣病予防健診事業

(1) 生活習慣病予防健診の歩み

昭和42年 結核住民健診と併せて、成人病健診として公民館で開始

昭和52年 保健センターで成人病健診を開始

40歳無料健診を開始

昭和57年 新保健センターで成人病健診を実施。受診者に、医師による個別指導を開始

昭和58年 保健衛生推進員の体験受診を開始

昭和59年 50歳半額健診を開始

昭和60年 超音波検査による乳腺検診を開始

昭和62年 婦人総合健診（乳腺検診及び婦人健診）を開始

昭和63年 腹部超音波検査を開始

平成 2 年 デジタル乳房撮影による乳がん検診を開始
平成 7 年 骨粗しょう症検診を開始
平成 10 年 超音波検査による乳腺検診を中止
平成 14 年 前立腺がん検診を開始
平成 16 年 マンモグラフィによる乳がん検診に変更
脳ドック検診を開始
平成 17 年 生活習慣病予防健診に名称変更
女性専用日健診として、乳がん検診を併せて実施
平成 18 年 女性専用日健診に、子宮頸がん検診を追加実施
乳がん検診を公民館等で実施
平成 25 年 婦人健診を中止
平成 27 年 生活習慣病予防健診を碧南市医師会臨床検査センターへ委託
胃がんリスク検査を開始
令和 8 年 3 月 婦人総合健診及び乳がん検診単独を中止

(2) 生活習慣病予防健診コース別検査項目

コース別 検査内容	Aコース	Bコース	Cコース (30歳以上)	Eコース (腹部超音波)	婦人総合健診 (子宮がん・乳がん)	乳がん 検診	胃がん リスク検査	骨粗鬆症 検診	前立腺 がん検診	脳ドック
尿検査	○	○	○		○					
問診	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
内科診察		○	○							
身体測定	○	○	○	○	○			○		○
腹囲測定	○	○	○							
視力測定	○	○	○		○					
血圧測定	○	○	○		○					○
貧血検査	○	○	○		○					
血液生化学検査	○	○	○							
聴力検査		○	○							
心電図検査		○	○							
肺機能検査		○	○							
眼圧検査		○	○							
眼底撮影		○	○							
胸部X線撮影	○	○	○							
胃部X線撮影			○							
便潜血		○	○							
スメアテスト(子宮がん)					○					
腹部超音波				○						
ピロリ菌抗体検査							○			
血清ペプシノーゲン検査							○			
乳がん検診(X線検査)					○	○				
骨密度測定								○		
前立腺がん検診(PSA)									○	
頭部MRI										○
頭部MRA										○
頸椎MRI										●
VSRAD										●

*脳ドックの●は、選択項目

(3) コース別・性別・年齢別内訳

(男)

(単位：人)

コース別 年齢別	A	B	C	E	胃がん リスク検査	骨粗しょう 症検診	前立腺がん 検診	脳ドック 検診	計
20歳未満	0	0	—	0	0	0	—	—	0
20～29歳	3	35	—	7	0	0	—	—	45
30～39歳	4	44	18	14	1	2	—	—	83
40～49歳	3	28	60	47	5	7	—	7	157
50～59歳	2	32	91	79	7	3	41	15	270
60～69歳	3	55	104	115	6	29	95	16	423
70歳以上	1	75	122	176	—	45	140	32	591
計	16	269	395	438	19	86	276	70	1,569

(女)

(単位：人)

コース別 年齢別	A	B	C	E	胃がん リスク検査	婦人総合 健診	乳がん検診	骨粗しょう 症検診	脳ドック 検診	計
20歳未満	0	0	—	0	0	—	—	0	—	0
20～29歳	6	31	—	7	0	1	4	0	—	49
30～39歳	11	63	18	27	7	2	35	6	—	169
40～49歳	4	79	86	101	10	7	125	11	4	427
50～59歳	5	100	105	133	7	19	145	35	16	565
60～69歳	2	130	107	176	3	23	172	49	27	689
70歳以上	4	71	88	147	—	16	140	48	32	546
計	32	474	404	591	27	68	621	149	79	2,445

ア 40歳の無料健診（B・Cコース）を 941人に案内

イ 50歳の半額健診（B・Cコース）を1,027人に案内

40歳 受診者数：男性19人・女性50人・計69人で7.3%受診

50歳 受診者数：男性19人・女性32人・計51人で5.0%受診

ウ へきなんヘルスキーパー、連絡委員に生活習慣病予防健診の受診を通して、市民への健診の普及啓発施策としてB・Cコースの無料体験受診を実施

へきなんヘルスキーパー

Bコース3人・Cコース11人・計14人受診

連絡委員

Bコース1人・Cコース 7人・計 8人受診

(4) コース別・性別・判定別内訳

ア Aコース（実施回数28回）

（単位：人）

判定 年齢別	総 数	男 性							女 性						
		A	B	C	D	E	F	計	A	B	C	D	E	F	計
20歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29歳	9	0	0	3	0	0	0	3	0	3	2	1	0	0	6
30～39歳	15	0	0	3	0	0	1	4	0	3	4	4	0	0	11
40～49歳	7	0	0	2	1	0	0	3	1	1	1	1	0	0	4
50～59歳	7	0	0	1	1	0	0	2	0	0	2	2	0	1	5
60～69歳	5	0	0	0	3	0	0	3	0	0	1	0	0	1	2
70歳以上	5	0	0	0	1	0	0	1	0	0	3	1	0	0	4
計	48	0	0	9	6	0	1	16	1	7	13	9	0	2	32

イ Bコース（実施回数73回）

（単位：人）

判定 年齢別	総 数	男 性							女 性						
		A	B	C	D	E	F	計	A	B	C	D	E	F	計
20歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29歳	66	1	7	17	10	0	0	35	2	9	15	4	0	1	31
30～39歳	107	2	4	18	17	3	0	44	0	15	31	15	0	2	63
40～49歳	107	0	0	14	14	0	0	28	3	12	36	21	0	7	79
50～59歳	132	0	0	9	17	1	5	32	1	6	47	37	1	8	100
60～69歳	185	0	0	18	27	1	9	55	0	1	51	61	1	16	130
70歳以上	146	0	0	17	35	0	23	75	0	0	25	36	1	9	71
計	743	3	11	93	120	5	37	269	6	43	205	174	3	43	474

ウ Cコース（実施回数73回）

（単位：人）

判定 年齢別	総 数	男 性							女 性						
		A	B	C	D	E	F	計	A	B	C	D	E	F	計
30～39歳	36	1	0	8	9	0	0	18	0	3	8	7	0	0	18
40～49歳	146	0	1	32	17	0	10	60	1	7	43	35	0	0	86
50～59歳	196	0	1	33	42	2	13	91	0	2	37	59	0	7	105
60～69歳	211	0	0	24	60	2	18	104	0	1	41	52	1	12	107
70歳以上	210	0	0	19	58	4	41	122	0	0	18	46	1	23	88
計	799	1	2	116	186	8	82	395	1	13	147	199	2	42	404

< A・B・Cコースの判定 >

A：今回の検査の範囲内では、異常は認められません。

B：僅かな異常を認めますが、日常生活に支障ありません。

C：僅かな異常があり、日常生活上注意が必要です。

D：精密検査のため、または治療のため医師にかかってください。

E：異常が認められます。すぐ医師にかかってください。

F：治療中

エ 胸部レントゲン決定判定区分（A・B・Cコース）

（単位：人）

年齢		20歳未満		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70歳以上		計		総計
性別		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
決定判定区分	B	0	0	38	35	65	86	90	160	119	195	147	216	160	138	619	830	1,449
	C	0	0	0	1	1	0	1	2	3	9	12	14	30	20	47	46	93
	D 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	2	2	4
	D 3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	4	0	4
	D 4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	4	2	6
	E 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1
計		0	0	38	36	66	86	91	162	123	204	161	231	198	161	677	880	1,557

オ 婦人総合健診（実施回数6回）

（単位：人）

判定 年齢別	総 数	総 合 判 定				ベセスダシステム				
		1	2	3	4	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL
20～29歳	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0
30～39歳	2	1	0	0	1	2	0	0	0	0
40～49歳	7	3	3	0	1	7	0	0	0	0
50～59歳	19	7	8	1	3	19	0	0	0	0
60～69歳	23	10	9	0	4	23	0	0	0	0
70歳以上	16	9	5	2	0	16	0	0	0	0
計	68	31	25	3	9	68	0	0	0	0

総合判定 1：異常なし 2：経過観察 3：再検査 4：精密検査

ベセスダシステム NILM以外：要精密検査

カ 女性専用日 子宮がん検診（実施回数16回）（単位：人）

判定 年齢別	総 数	ベセスダシステム				
		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL
20～29歳	4	4	0	0	0	0
30～39歳	21	21	0	0	0	0
40～49歳	79	78	1	0	0	0
50～59歳	89	89	0	0	0	0
60～69歳	121	120	1	0	0	0
70歳以上	71	71	0	0	0	0
計	385	383	2	0	0	0

ベセスダシステム NILM以外：要精密検査

キ Eコース（腹部超音波検査）（実施回数78回）

（単位：人）

判定 年齢別	総 数	男性					女性				
		異常なし	放置可	要観察	要精検	計	異常なし	放置可	要観察	要精検	計
20歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29歳	14	3	0	4	0	7	3	0	4	0	7
30～39歳	41	8	0	6	0	14	16	0	10	1	27
40～49歳	148	16	0	29	2	47	46	3	46	6	101
50～59歳	212	14	5	51	9	79	37	3	89	4	133
60～69歳	291	12	1	96	6	115	35	3	127	11	176
70歳以上	323	13	3	149	11	176	15	1	120	11	147
計	1,029	66	9	335	28	438	152	10	396	33	591

ク 骨粗しょう症検診（実施回数70回）

（単位：人）

判定 年齢別	総 数	男 性				女 性			
		A	B	C	計	A	B	C	計
20歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30～39歳	8	2	0	0	2	3	2	1	6
40～49歳	18	4	2	1	7	8	3	0	11
50～59歳	38	3	0	0	3	19	13	3	35
60～69歳	78	17	10	2	29	23	21	5	49
70～79歳	80	24	12	3	39	12	20	9	41
80歳以上	13	4	2	0	6	2	3	2	7
計	235	54	26	6	86	67	62	20	149

A：異常なし B：要指導 C：要再検査

ケ 前立腺がん検診（実施回数 5 5 回）

（単位：人）

判定 年齢別	総 数	P S A 測 定 値		
		4未満	4以上	(10以上)
50～59歳	41	40	1	(1)
60～69歳	95	84	11	(2)
70歳以上	140	125	15	(2)
計	276	249	27	(5)

P S A測定値 4 以上：要精密検査

コ 胃がんリスク検査（実施回数 3 0 回）

（単位：人）

判定 年齢別	総 数	男性					女性				
		A	B	C	D	計	A	B	C	D	計
20歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30～39歳	8	1	0	0	0	1	7	0	0	0	7
40～49歳	15	5	0	0	0	5	8	2	0	0	10
50～59歳	14	4	2	1	0	7	5	2	0	0	7
60～64歳	9	4	1	1	0	6	3	0	0	0	3
計	46	14	3	2	0	19	23	4	0	0	27

A：異常なし B・C・D：要精密検査

サ 乳がん検診（実施回数 30 回）

（単位：人）

判定 年齢別	総 数	異 常 な し	要 精 検	要精検カテゴリー				
				①	②	③	④	⑤
20～29歳	4	4	0	0	0	0	0	0
30～39歳	35	34	1	0	0	1	0	0
40～49歳	125	119	6	2	0	4	0	0
50～59歳	145	139	6	0	0	6	0	0
60～69歳	172	167	5	0	0	5	0	0
70歳以上	140	137	3	1	0	2	0	0
計	621	600	21	3	0	18	0	0

シ 脳ドック検診

（単位：人）

判定 年齢別	総数	男 性						女 性					
		A	B	C	D	E	計	A	B	C	D	E	計
40～49歳	11	0	5	1	1	0	7	3	0	1	0	0	4
50～59歳	31	2	10	1	2	0	15	5	7	2	2	0	16
60～69歳	43	1	9	3	3	0	16	6	15	2	4	0	27
70～79歳	51	0	12	8	7	0	27	1	14	3	6	0	24
80歳以上	13	0	1	2	2	0	5	0	6	0	2	0	8
計	149	3	37	15	15	0	70	15	42	8	14	0	79

<脳ドック検診の判定>

A：検査では異常は認められません。

B：わずかな異常は認められましたが、日常生活には差し支えがありません。

C：日常生活に注意を要し、経過観察を必要とします。

D：専門医の診察を必要とします。

E：治療中

(5) 各コースの要精密検査受診状況（令和8年4月30日現在）

ア コース別受診者及び精密検査受診状況

（単位：人）

コース	受診者	精密検査 対象者	精密検査 受診者	精密検査受診結果					
				異常なし	通院治療	入院治療	経過観察	他院へ紹介	ピロリ菌 除菌
A	48	16	4	1	2	—	1	—	—
B	743	322	191	32	47	1	110	1	—
C	799	424	291	26	89	—	173	3	—
（胸部X線（肺野））	（1,557）	10	7	1	—	—	6	—	—
（胃透視）	（799）	69	40	2	2	—	27	—	9
（胃がんリスク検査）	（46）	9	4	1	—	—	2	—	1
（女性専用子宮がん検診）	（385）	16	8	4	1	—	3	—	—
（子宮がん検診細胞診）	（385）	2	2	1	—	—	1	—	—
E	1,029	59	48	5	1	—	37	5	—
婦人総合健診	68	9	9	1	4	—	4	—	—
（婦人総合健診細胞診）	（68）	0	—	—	—	—	—	—	—
乳がん検診	621	21	17	8	—	—	8	1	—
骨粗しょう症検診	235	26	7	1	3	—	3	—	—
前立腺がん検診	276	27	19	4	—	—	15	—	—
脳ドック検診	149	29	12	—	2	1	9	—	—

イ 便潜血反応検査（B・Cコース）

（単位：人）

提出数		陽性者		精検受診者		精検受診結果	
男	女	男	女	男	女	異常なし	異常あり
639	849	48	47	31	30	16	45
1,488		95		61			

がん発見者 大腸がん1人

ウ 肝炎ウイルス検査（A・B・Cコース）

(ア) B型肝炎検査

（単位：人）

検査者数	陽性者数
175	0

(イ) C型肝炎検査

（単位：人）

検査者数	陽性者数
181	0

10 医療機関委託等の健康診査事業

(1) 個別方式の健康診査事業の歩み

- 昭和 58 年 老人保健法による子宮がん検診(30 歳以上)、胃がん検診(40 歳以上) 開始
- 昭和 63 年 肺がん検診(40 歳以上)、乳がん検診(30 歳以上)、子宮体がん検診(30 歳以上) 開始
- 平成 2 年 大腸がん検診(40 歳以上) 開始
- 平成 14 年 肝炎ウイルス検診(40 歳以上) 開始
- 平成 16 年 前立腺がん検診(50 歳以上) 開始
子宮がん検診の対象年齢を 20 歳以上に変更
- 平成 20 年 健康増進法に基づく事業としてがん検診実施
個別方式の乳がん検診(マンモグラフィ・40 歳以上) 実施
- 平成 22 年 碧南市医師会臨床検査センターに委託した特定健康診査集団方式に併せて、
胃・肺・大腸・前立腺がん検診、肝炎ウイルス検診を開始
- 平成 23 年 ヒトパピローマウイルス検査を開始
- 令和 2 年 子宮・乳がん検診を通年実施
- 令和 4 年 乳がん検診に超音波検査を開始
- 令和 7 年 乳腺視触診を中止

(2) 個別方式の健康診査事業の概要

ア 実施内容

がん検診(胃・肺・大腸・子宮・乳・前立腺がん)、肝炎ウイルス検診(B・C型肝炎ウイルス検査) *特定健康診査等と同時実施

種 別	内 容	対象年齢
胃がん検診	胃部X線写真撮影	40 歳以上
肺がん検診 (結核の検査を含みます)	胸部X線写真撮影 喀痰検査：医師が必要と認めた場合	
大腸がん検診	便潜血反応検査	
乳がん検診	乳房X線写真撮影(マンモグラフィ)・自己触診法の説明	
	乳房超音波(エコー)検査・自己触診法の説明	20 歳以上
前立腺がん検診	前立腺特異抗原(PSA)値測定(血液検査) 触診：医師が必要と認めた場合	50 歳以上

子宮がん検診		20歳以上
子宮頸部がん検診	内診・子宮頸部の細胞診	
子宮体部がん検診	体部細胞診：頸部検診で医師が必要と認めた場合	
ヒトパピローマウイルス検査	HPV検査（希望者のみ有料） ＊子宮頸部がん検診に併せて実施	

イ 実施期間

令和7年6月2日（月）から令和7年11月29日（土）

ウ 実施医療機関

碧南市医師会の推薦に基づいて市が契約する医療機関

医療機関名	住 所	特定健診・肝 炎ウイルス	が ん 検 診					
			胃	肺	大腸	子宮	乳	前立腺
岡 村 産 科 婦 人 科	沢渡町 29	●				◎	◎	
長 田 医 院	源氏町 4-36	○	○	○	○			○
加 藤 病 院	松本町 158	○	○	○	○			○
上 平 医 院	野田町 52	○		○	○			○
小 林 記 念 病 院	新川町 3-88	○	○	○	○	◎	◎	○
小 林 ク リ ニ ッ ク	立山町 1-10	○		○	○			○
さ か べ 医 院	志貴町 2-86	○	○	○	○			○
作塚杉浦クリニック	作塚町 3-10	○	○	○	○			○
新 川 中 央 病 院	松江町 6-83	○	○	○	○			○
S S C 杉 浦 医 院	音羽町 2-6	○		○	○			○
にしばたクリニック	札木町 2-74	○		○	○			○
原 田 医 院	湖西町 1-50	○	○	○	○			○
碧 南 市 民 病 院	平和町 3-6						◎	
へきなん中央クリニック	栄町 1-44	○		○	○			○
堀 尾 医 院	新川町 5-108	○	○	○	○			○
みどりの森クリニック	向陽町 1-41	○	○	○	○			○
もぎ内科クリニック	中山町 1-25	○	○	○	○			○
山 中 従 天 医 館	東浦町 2-85	○	○	○	○			○
わしづかクリニック	旭町 4-32-1	○	○	○	○			○

◎印は、令和8年3月31日まで実施、●印は、肝炎ウイルス検診のみ実施

(3) 集団方式の健康診査事業

ア 実施内容

がん検診（胃・肺・大腸・前立腺がん）、肝炎ウイルス検診（B・C型肝炎ウイルス検査）

＊特定健康診査等と同時実施、胃がん検診は(3)イ(イ)土曜日特定健康診査のみ実施

イ 実施日

(ア) 集団特定健康診査

令和7年8月26日(火)・8月29日(金)・9月12日(金)

(イ) 土曜日特定健康診査

令和8年1月17日(土)・1月24日(土)

ウ 実施場所

碧南市医師会臨床検査センター（保健センター内）

エ 実施機関

碧南市医師会臨床検査センター

(4) 各検診結果（令和8年5月1日現在）

ア がん検診

(7) 胃がん検診

a 医療機関委託分

（単位：人）

	年 齢	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
男	受診者数	34	58	173	747	1,012
	要精検者数	1	1	5	21	28
	精検受診者数	1	1	5	18	25
	異常なし	1	1	0	1	3
	がん以外の疾患	0	0	4	16	20
	が ん	0	0	1	1	2
女	受診者数	38	85	161	646	930
	要精検者数	0	3	3	19	25
	精検受診者数	0	3	3	13	19
	異常なし	0	1	0	0	1
	がん以外の疾患	0	2	3	13	18
	が ん	0	0	0	0	0
計	受診者数	72	143	334	1,393	1,942
	要精検者数	1	4	8	40	53
	精検受診者数	1	4	8	31	44
	異常なし	1	2	0	1	4
	がん以外の疾患	0	2	7	29	38
	が ん	0	0	1	1	2

b 集団健診分

（単位：人）

	年 齢	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
男	受診者数	2	4	7	10	23
	要精検者数	0	0	0	0	0
	精検受診者数	0	0	0	0	0
	異常なし	0	0	0	0	0
	がん以外の疾患	0	0	0	0	0
	が ん	0	0	0	0	0
女	受診者数	2	0	2	3	7
	要精検者数	0	0	0	1	1
	精検受診者数	0	0	0	0	0
	異常なし	0	0	0	0	0
	がん以外の疾患	0	0	0	0	0
	が ん	0	0	0	0	0
計	受診者数	4	4	9	13	30
	要精検者数	0	0	0	1	1
	精検受診者数	0	0	0	0	0
	異常なし	0	0	0	0	0
	がん以外の疾患	0	0	0	0	0
	が ん	0	0	0	0	0

(イ) 肺がん検診

a 医療機関委託分

(単位：人)

	年 齢	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
男	受診者数	76	119	395	2,516	3,106
	X線判定E	1	0	4	52	57
	(再)喀痰細胞診受診	2	2	10	161	175
	判定D・E	0	0	0	0	0
	要精検者数	1	0	9	74	84
	精検受診者数	1	0	7	66	74
	異常なし	0	0	2	13	15
	がん以外の疾患	1	0	5	46	52
	が ん	0	0	0	7	7
女	受診者数	73	162	541	3,221	3,997
	X線判定E	0	2	2	45	49
	(再)喀痰細胞診受診	2	1	4	73	80
	判定D・E	0	0	0	0	0
	要精検者数	0	3	3	71	77
	精検受診者数	0	3	2	52	57
	異常なし	0	1	2	20	23
	がん以外の疾患	0	2	0	30	32
	が ん	0	0	0	2	2
計	受診者数	149	281	936	5,737	7,103
	X線判定E	1	2	6	97	106
	(再)喀痰細胞診受診	4	3	14	234	255
	判定D・E	0	0	0	0	0
	要精検者数	1	3	12	145	161
	精検受診者数	1	3	9	118	131
	異常なし	0	1	4	33	38
	がん以外の疾患	1	2	5	76	84
	が ん	0	0	0	9	9

b 集団健診分

(単位：人)

	年 齢	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
男	受診者数	10	11	13	19	53
	要精検者数	0	1	0	0	1
	X線判定E	0	0	0	0	0
	精検受診者数	0	0	0	0	0
	異常なし	0	0	0	0	0
	がん以外の疾患	0	0	0	0	0
	が ん	0	0	0	0	0
女	受診者数	8	4	9	11	32
	要精検者数	0	0	0	0	0
	X線判定E	0	0	0	0	0
	精検受診者数	0	0	0	0	0
	異常なし	0	0	0	0	0
	がん以外の疾患	0	0	0	0	0
	が ん	0	0	0	0	0
計	受診者数	18	15	22	30	85
	要精検者数	0	1	0	0	1
	X線判定E	0	0	0	0	0
	精検受診者数	0	0	0	0	0
	異常なし	0	0	0	0	0
	がん以外の疾患	0	0	0	0	0
	が ん	0	0	0	0	0

(ウ) 大腸がん検診

a 医療機関委託分

(単位：人)

	年 齢	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
男	受診者数	58	96	303	1,819	2,276
	要精検者数	1	6	24	259	290
	便潜血 (+) 者数	1	6	24	259	290
	精検受診者数	1	1	13	132	147
	異常なし	0	0	1	16	17
	がん以外の疾患	1	1	12	110	124
	が ん	0	0	0	6	6
女	受診者数	73	150	452	2,124	2,799
	要精検者数	3	2	31	168	204
	便潜血 (+) 者数	3	2	31	168	204
	精検受診者数	3	2	18	78	101
	異常なし	0	2	1	17	20
	がん以外の疾患	3	0	17	57	77
	が ん	0	0	0	4	4
計	受診者数	131	246	755	3,943	5,075
	要精検者数	4	8	55	427	494
	便潜血 (+) 者数	4	8	55	427	494
	精検受診者数	4	3	31	210	248
	異常なし	0	2	2	33	37
	がん以外の疾患	4	1	29	167	201
	が ん	0	0	0	10	10

b 集団健診分

(単位：人)

	年 齢	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
男	受診者数	10	9	13	17	49
	要精検者数	0	0	1	1	2
	便潜血 (+) 者数	0	0	1	1	2
	精検受診者数	0	0	0	0	0
	異常なし	0	0	0	0	0
	がん以外の疾患	0	0	0	0	0
	が ん	0	0	0	0	0
女	受診者数	7	2	8	12	29
	要精検者数	1	0	0	0	1
	便潜血 (+) 者数	1	0	0	0	1
	精検受診者数	0	0	0	0	0
	異常なし	0	0	0	0	0
	がん以外の疾患	0	0	0	0	0
	が ん	0	0	0	0	0
計	受診者数	17	11	21	29	78
	要精検者数	1	0	1	1	3
	便潜血 (+) 者数	1	0	1	1	3
	精検受診者数	0	0	0	0	0
	異常なし	0	0	0	0	0
	がん以外の疾患	0	0	0	0	0
	が ん	0	0	0	0	0

(エ) 子宮がん検診

(単位：人)

年 齢	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
頸部受診者数	196	300	384	345	225	219	1,669
ASC-US以上	6	18	13	10	2	3	52
(再)体部受診	0	1	19	28	6	1	55
疑陽性以上	0	0	0	1	0	0	1
要精検者数	7	18	14	13	4	4	60
精検受診者数	1	3	7	6	3	4	24
異常なし	1	2	4	5	2	2	16
がん以外の疾患	0	1	3	1	1	2	8
が ん	0	0	0	0	0	0	0

a ヒトパピローマウイルス検査結果

(単位：人)

年齢	20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70歳以上		合 計	
HPV ベセスダ	+	-	+	-	+	-	+	-	+	-	+	-	+	-
NILM	10	36	11	65	5	72	3	54	2	21	0	11	31	259
ASC-US	1	1	3	2	2	0	0	3	0	0	0	1	6	7
ASC-H	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0
LSIL	1	0	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	5	1
HSIL	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
AGC	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	12	37	17	68	11	72	3	57	2	21	0	12	45	267
	49		85		83		60		23		12		312	

(オ) 乳がん検診

a マンモグラフィ検査結果

(単位：人)

年 齢	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
受診者数	118	180	158	211	667
要精検者数	17	18	7	12	54
精検受診者数	13	11	3	10	37
異常なし	6	3	1	3	13
がん以外の疾患	7	8	2	7	24
が ん	0	0	0	0	0

b 超音波検査結果

(単位：人)

年 齢	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
受診者数	104	275	137	88	120	174	898
要精検者数	7	20	18	4	2	7	58
精検受診者数	4	15	13	1	2	6	41
異常なし	0	1	1	0	1	1	4
がん以外の疾患	4	14	11	1	1	5	36
が ん	0	0	1	0	0	0	1

(カ) 前立腺がん検診

a 医療機関委託分

(単位：人)

年 齢	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
受診者数	157	370	2,324	2,851
要精検者数	3	18	211	232
精検受診者数	3	11	112	126
異常なし	1	5	17	23
がん以外の疾患	2	6	80	88
が ん	0	0	15	15

b 集団健診分

(単位：人)

年 齢	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
受診者数	11	14	18	43
要精検者数	0	0	3	3
精検受診者数	0	0	0	0
異常なし	0	0	0	0
がん以外の疾患	0	0	0	0
が ん	0	0	0	0

イ 肝炎ウイルス検診

(7) B型肝炎ウイルス検査

a 医療機関委託分 検査結果

(単位：人)

	年 齢	40歳	41～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
男	陰 性	31	24	25	81	105	266
	陽 性	0	0	0	1	0	1
	合 計	31	24	25	82	105	267
女	陰 性	36	23	29	98	161	347
	陽 性	0	0	0	0	0	0
	合 計	36	23	29	98	161	347
計	陰 性	67	47	54	179	266	613
	陽 性	0	0	0	1	0	1
	合 計	67	47	54	180	266	614

b 医療機関委託分 精密検査結果

(単位：人)

	年 齢	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
男	要精検者数	0	0	1	0	1
	精検受診者数	0	0	0	0	0
	肝炎	0	0	0	0	0
	キャリア	0	0	1	0	1
	その他	0	0	0	0	0
女	要精検者数	0	0	0	0	0
	精検受診者数	0	0	0	0	0
	肝炎	0	0	0	0	0
	キャリア	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
計	要精検者数	0	0	1	0	1
	精検受診者数	0	0	0	0	0
	肝炎	0	0	0	0	0
	キャリア	0	0	1	0	1
	その他	0	0	0	0	0

c 集団健診分

(単位：人)

	年 齢	40歳	41～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
男	陰 性	0	4	5	5	2	16
	陽 性	0	0	0	0	0	0
	合 計	0	4	5	5	2	16
女	陰 性	0	6	1	2	2	11
	陽 性	0	0	0	0	0	0
	合 計	0	6	1	2	2	11
計	陰 性	0	10	6	7	4	27
	陽 性	0	0	0	0	0	0
	合 計	0	10	6	7	4	27

(イ) C型肝炎ウイルス検査

a 医療機関委託分

(単位：人)

	年 齢	40歳	41～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
男	判 定 1	0	0	0	0	0	0
	判 定 2	0	0	0	0	0	0
	判 定 3	0	0	0	0	0	0
	判 定 4	0	1	1	0	0	2
	判 定 5	31	23	24	82	103	263
	合 計	31	24	25	82	103	265
女	判 定 1	0	0	0	0	0	0
	判 定 2	0	0	0	0	0	0
	判 定 3	0	0	0	0	0	0
	判 定 4	1	0	0	0	1	2
	判 定 5	35	23	29	98	159	344
	合 計	36	23	29	98	160	346
計	判 定 1	0	0	0	0	0	0
	判 定 2	0	0	0	0	0	0
	判 定 3	0	0	0	0	0	0
	判 定 4	1	1	1	0	1	4
	判 定 5	66	46	53	180	262	607
	合 計	67	47	54	180	263	611

b 医療機関委託分 精密検査結果

(単位：人)

	年 齢	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
男	要精検者数	0	0	0	0	0
	精検受診者数	0	0	0	0	0
	C型肝炎	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
女	要精検者数	0	0	0	0	0
	精検受診者数	0	0	0	0	0
	C型肝炎	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
計	要精検者数	0	0	0	0	0
	精検受診者数	0	0	0	0	0
	C型肝炎	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0

c 集団健診分

(単位：人)

	年 齢	40歳	41～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
男	判 定 1	0	0	0	0	0	0
	判 定 2	0	0	0	0	0	0
	判 定 3	0	0	0	0	0	0
	判 定 4	0	0	0	0	0	0
	判 定 5	0	4	5	5	2	16
	合 計	0	4	5	5	2	16
女	判 定 1	0	0	0	0	0	0
	判 定 2	0	0	0	0	0	0
	判 定 3	0	0	0	0	0	0
	判 定 4	0	0	0	0	0	0
	判 定 5	0	6	1	2	2	11
	合 計	0	6	1	2	2	11
計	判 定 1	0	0	0	0	0	0
	判 定 2	0	0	0	0	0	0
	判 定 3	0	0	0	0	0	0
	判 定 4	0	0	0	0	0	0
	判 定 5	0	10	6	7	4	27
	合 計	0	10	6	7	4	27

第5 特定健康診査等

1 特定健康診査等の歩み

- 平成20年 高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、特定健康診査を開始
介護保険第1号被保険者で要介護等認定を受けていない者に生活機能評価を
同時実施
- 平成22年 後期高齢者医療広域連合加入者に医師が必要と認める詳細な項目を実施
碧南市医師会臨床検査センターに委託した特定健康診査集団方式を開始
- 平成25年 生活機能評価は廃止、介護保険第1号被保険者で要介護等認定を受けていな
い者に介護予防のための基本チェックリストを同時実施
- 平成27年 介護保険第1号被保険者で要介護等認定を受けていない者に介護予防のため
の基本チェックリストを廃止
- 令和2年 後期高齢者医療広域連合加入者にフレイル状態に着目した「後期高齢者の質
問票」を導入

2 特定健康診査等の概要

(1) 対象

- ア 碧南市国民健康保険加入者で年度内に40歳から74歳に達する者
 - イ 後期高齢者医療広域連合加入者
 - ウ 碧南市在住の生活保護受給者で40歳以上の者
- ※ 高齢者の医療の確保に関する法律第55条第1項第2号から第5号までに規定
する施設に入所している者は対象外

(2) 実施期間・場所

- ア 医療機関委託
令和7年6月2日（月）から令和7年11月29日（土）
碧南市医師会の推薦に基づいて市が契約する医療機関（75ページを参照）
- イ 生活習慣病予防健診（特定健康診査として、対象者のうち(1)アのみを対象）
通年 保健センター
- ウ 集団健診（特定健康診査として、対象者のうち(1)アのみを対象）

(ア) 集団特定健康診査

令和7年8月26日（火）・8月29日（金）・9月12日（金）
碧南市医師会臨床検査センター（保健センター内）

(4) 土曜日特定健康診査

令和8年1月17日(土)・1月24日(土)

碧南市医師会臨床検査センター（保健センター内）

(3) 検査項目

ア 基本的な項目

(7) 問診：現病・既往歴・生活習慣等

(4) 身体測定：身長・体重・腹囲・BMI

(ウ) 理学的所見：聴打診・触診

(エ) 血圧測定

(オ) 尿検査（糖・蛋白・潜血）

(カ) 血液検査：脂質（HDL・LDLコレステロール、中性脂肪（空腹時または随時））

肝機能（GOT・GPT・ γ -GTP）

血糖（空腹時または随時）、ヘモグロビンA1c

アルブミン、e-GFR、尿酸

イ 医師が必要と認める詳細な項目

(7) 貧血検査：赤血球・血色素量・ヘマトクリット

(4) 心電図検査（標準12誘導心電図）

(ウ) 眼底検査（無散瞳又は散瞳型カメラによる眼底写真撮影）

(エ) クレアチニン

3 健康診査受診者数状況

(1) 医療機関委託分

(単位：人)

		男	女	合計	詳細健診再掲								
					貧血検査			心電図検査			眼底検査		
					男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
国保	40～64歳	433	530	963	411	502	913	416	513	929	131	197	328
	65～74歳	963	1,148	2,111	879	1,050	1,929	940	1,106	2,046	264	288	552
	小計	1,396	1,678	3,074	1,290	1,552	2,842	1,356	1,619	2,975	395	485	880
後期高齢者		1,896	2,458	4,354	1,775	2,236	4,011	1,849	2,417	4,266	379	469	848
生活保護受給者		16	15	31	15	12	27	15	15	30	4	6	10
合計		3,308	4,151	7,459	3,080	3,800	6,880	3,220	4,051	7,271	778	960	1,738

(2) 生活習慣病予防健診分 (単位：人)

		男	女	合計
国保	40～64歳	120	138	258
	65～74歳	131	150	281
	合計	251	288	539

(3) 集団健診分

(単位：人)

		男	女	合計
国保	40～64歳	43	31	74
	65～74歳	35	24	59
	合計	78	55	133

4 医療機関委託分 健診結果

(1) 国民健康保険加入者分

		異常なし		要観察		要指導		要医療		判定なし		合計	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
総合判定	男	55	3.9	296	21.2	328	23.5	717	51.4	0	0.0	1,396	100.0
	女	114	6.8	447	26.6	402	24.0	715	42.6	0	0.0	1,678	100.0
	合計	169	5.5	743	24.2	730	23.7	1,432	46.6	0	0.0	3,074	100.0

※判定なしは、詳細健診等未実施等の場合

※%は小数点以下第2位を四捨五入して計上

(2) 後期高齢者医療広域連合加入者分

		異常なし		要観察		要指導		要医療		判定なし		合計	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
総合判定	男	48	2.5	349	18.4	365	19.3	1,134	59.8	0	0.0	1,896	100.0
	女	73	3.0	557	22.7	426	17.3	1,402	57.0	0	0.0	2,458	100.0
	合計	121	2.8	906	20.8	791	18.2	2,536	58.2	0	0.0	4,354	100.0

※判定なしは、詳細健診等未実施等の場合

※%は小数点以下第2位を四捨五入して計上

(3) 生活保護受給者分

		異常なし		要観察		要指導		要医療		判定なし		合計	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
総合判定	男	0	0.0	5	31.3	2	12.5	9	56.2	0	0.0	16	100.0
	女	0	0.0	2	13.3	1	6.7	12	80.0	0	0.0	15	100.0
	合計	0	0.0	7	22.6	3	9.7	21	67.7	0	0.0	31	100.0

※判定なしは、詳細健診等未実施等の場合

※%は小数点以下第2位を四捨五入して計上

5 碧南市国民健康保険加入者 特定健康診査結果

(1) 令和7年度分

ア メタボリックシンドローム判定

		基準該当		予備群該当		非該当		判定不能		合計	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
40～64歳	男	173	29.0	111	18.6	312	52.4	0	0.0	596	100.0
	女	82	11.7	47	6.7	569	81.4	1	0.2	699	100.0
	小計	255	19.7	158	12.2	881	68.0	1	0.1	1,295	100.0
65～74歳	男	467	41.4	229	20.3	433	38.3	0	0.0	1,129	100.0
	女	247	18.7	97	7.3	977	73.9	1	0.1	1,322	100.0
	小計	714	29.1	326	13.3	1,410	57.5	1	0.1	2,451	100.0
合計		969	25.9	484	12.9	2,291	61.2	2	0.0	3,746	100.0

※%は小数点以下第2位を四捨五入して計上

イ 保健指導レベル

		積極的		動機づけ		服薬のための 情報提供		情報提供		判定不能		合計	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
40～64歳	男	95	15.9	50	8.4	155	26.0	296	49.7	0	0.0	596	100.0
	女	27	3.9	47	6.7	111	15.9	513	73.4	1	0.1	699	100.0
	小計	122	9.4	97	7.5	266	20.5	809	62.5	1	0.1	1,295	100.0
65～74歳	男	-	-	143	12.7	573	50.7	413	36.6	0	0.0	1,129	100.0
	女	-	-	85	6.4	364	27.5	872	66.0	1	0.1	1,322	100.0
	小計	-	-	228	9.3	937	38.2	1,285	52.4	1	0.1	2,451	100.0
合計		122	3.3	325	8.7	1,203	32.1	2,094	55.9	2	0.0	3,746	100.0

※%は小数点以下第2位を四捨五入して計上

(2) 医療機関委託分

ア メタボリックシンドローム判定

		基準該当		予備群該当		非該当		判定不能		合計	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
40～64 歳	男	139	32.1	86	19.9	208	48.0	0	0.0	433	100.0
	女	78	14.7	44	8.3	407	76.8	1	0.2	530	100.0
	小計	217	22.5	130	13.5	615	63.9	1	0.1	963	100.0
65～74 歳	男	423	43.9	196	20.4	344	35.7	0	0.0	963	100.0
	女	228	19.9	89	7.7	830	72.3	1	0.1	1,148	100.0
	小計	651	30.8	285	13.5	1,174	55.6	1	0.1	2,111	100.0
合計		868	28.2	415	13.5	1,789	58.2	2	0.1	3,074	100.0

※%は小数点以下第2位を四捨五入して計上

イ 保健指導レベル

		積極的		動機づけ		服薬のための 情報提供		情報提供		判定不能		合計	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
40～64 歳	男	68	15.7	40	9.2	126	29.1	199	46.0	0	0.0	433	100.0
	女	25	4.7	36	6.8	100	18.9	368	69.4	1	0.2	530	100.0
	小計	93	9.6	76	7.9	226	23.5	567	58.9	1	0.1	963	100.0
65～74 歳	男	-	-	122	12.7	510	52.9	331	34.4	0	0.0	963	100.0
	女	-	-	74	6.4	333	29.0	740	64.5	1	0.1	1,148	100.0
	小計	-	-	196	9.3	843	39.9	1,071	50.7	1	0.1	2,111	100.0
合計		93	3.0	272	8.8	1,069	34.8	1,638	53.3	2	0.1	3,074	100.0

※%は小数点以下第2位を四捨五入して計上

(3) 生活習慣病予防健診分

ア メタボリックシンドローム判定

		基準該当		予備群該当		非該当		判定不能		合計	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
40～64 歳	男	23	19.1	14	11.7	83	69.2	0	0.0	120	100.0
	女	4	2.9	2	1.4	132	95.7	0	0.0	138	100.0
	小計	27	10.5	16	6.2	215	83.3	0	0.0	258	100.0
65～74 歳	男	35	26.7	27	20.6	69	52.7	0	0.0	131	100.0
	女	15	10.0	6	4.0	129	86.0	0	0.0	150	100.0
	小計	50	17.8	33	11.7	198	70.5	0	0.0	281	100.0
合計		77	14.3	49	9.1	413	76.6	0	0.0	539	100.0

※%は小数点以下第2位を四捨五入して計上

イ 保健指導レベル

		積極的		動機づけ		服薬のための 情報提供		情報提供		判定不能		合計	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
40～64 歳	男	15	12.5	7	5.9	19	15.8	79	65.8	0	0.0	120	100.0
	女	1	0.7	7	5.1	11	8.0	119	86.2	0	0.0	138	100.0
	小計	16	6.2	14	5.4	30	11.6	198	76.8	0	0.0	258	100.0
65～74 歳	男	-	-	15	11.4	53	40.5	63	48.1	0	0.0	131	100.0
	女	-	-	8	5.3	27	18.0	115	76.7	0	0.0	150	100.0
	小計	-	-	23	8.2	80	28.5	178	63.3	0	0.0	281	100.0
合計		16	3.0	37	6.9	110	20.4	376	69.7	0	0.0	539	100.0

※%は小数点以下第2位を四捨五入して計上

(4) 集団健診分

ア メタボリックシンドローム判定

		基準該当		予備群該当		非該当		判定不能		合計	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
40～64 歳	男	11	25.6	11	25.6	21	48.8	0	0.0	43	100.0
	女	0	0.0	1	3.2	30	96.8	0	0.0	31	100.0
	小計	11	14.9	12	16.2	51	68.9	0	0.0	74	100.0
65～74 歳	男	9	25.7	6	17.1	20	57.2	0	0.0	35	100.0
	女	4	16.7	2	8.3	18	75.0	0	0.0	24	100.0
	小計	13	22.0	8	13.6	38	64.4	0	0.0	59	100.0
合計		24	18.1	20	15.0	89	66.9	0	0.0	133	100.0

※%は小数点以下第2位を四捨五入して計上

イ 保健指導レベル

		積極的		動機づけ		服薬のための 情報提供		情報提供		判定不能		合計	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
40～64 歳	男	12	27.9	3	7.0	10	23.2	18	41.9	0	0.0	43	100.0
	女	1	3.2	4	12.9	0	0.0	26	83.9	0	0.0	31	100.0
	小計	13	17.6	7	9.4	10	13.5	44	59.5	0	0.0	74	100.0
65～74 歳	男	-	-	6	17.1	10	28.6	19	54.3	0	0.0	35	100.0
	女	-	-	3	12.5	4	16.7	17	70.8	0	0.0	24	100.0
	小計	-	-	9	15.3	14	23.7	36	61.0	0	0.0	59	100.0
合計		13	9.8	16	12.0	24	18.0	80	60.2	0	0.0	133	100.0

※%は小数点以下第2位を四捨五入して計上

6 特定保健指導等

(1) ライフデザイン相談（特定保健指導個別支援型）

ア 対象

積極的支援・動機付け支援対象者

イ 日時

予約制・1人30分程度

ウ 場所

保健センター

エ 従事

管理栄養士、保健師

オ 内容

個別面接による特定保健指導

カ 実施状況（健診年度に関わらず、令和7年度に特定保健指導を実施した者）

（単位：人）

内訳	積極的	動機付け	計
初回面接	8	46	54
中間評価	6	-	6
最終評価	4	36	40

※ライフデザイン講座（特定保健指導グループ支援型）参加者も含む。

(2) ライフデザイン講座（特定保健指導グループ支援型）

ア 対象

積極的支援・動機付け支援対象者

イ 場所

保健センター

ウ 従事

管理栄養士、保健師

エ 内容

1グループ90分・12名以内による特定保健指導

オ 実施状況

（単位：人）

	実施月日	積極的	動機付け	計
1	令和7年 11月 5日（水）午後	1	6	7
2	11月 25日（火）午後	0	3	3

(単位:人)

	実 施 月 日	積極的	動機付け	計
3	令和8年 1月23日(金) 午後	0	6	6
4	2月 2日(月) 午後	0	3	3
5	3月18日(水) 午前	3	8	11
6	3月27日(金) 午後	0	9	9

(3) 実践講座

ア 対象

積極的支援・動機付け支援対象者等

イ 日時

毎月概ね第1木曜日 午後1時30分から3時

ウ 場所

へきなん福祉センターあいくる まちかどホール

エ 講師

運動実技指導 森田東子氏

オ 従事

保健師

カ 内容

血圧測定等健康チェック・運動実技

キ 実施状況

(単位:人)

月	4	5	6	7	9	10		11	12	R8.1	2	3	計
日	3	1	5	3	4	2	23	6	4	22	5	5	
人数	32	28	29	27	27	29	26	30	25	26	20	32	331

(4) 国民健康保険健康づくりイベント（かるやかウォーキングツアー）

ア 対象

40歳から74歳までの碧南市国民健康保険加入者

イ 日時

10月31日(金) 午前9時30分から13時

ウ 場所

保健センター

エ 従事

保健師、管理栄養士

オ 協力

在宅保健師会「あいち」（愛知県国民健康保険団体連合会保健事業支援）、健康づくり食ボランティア協議会

カ 内容

血圧測定・健康チェック、ウォーキング（保健センター・臨海公園往復約5km）、健康づくりに関する講義

講義:楽しく！ウォーキングを続けるためのセルフケア（健康運動実践指導者）

キ 参加人数

11人

(5) ウォーキング自主グループ活動

ア 日時

第2・4月曜日（祝日の場合は振替）月2回

午前9時から約1時間（夏季は午前8時30分から）

イ 内容

ウォーキング（保健センター・臨海公園往復約5km）、準備・整理体操

ウ 実施状況 会員11人(年度末)

(単位：人)

月	4		5		6		7		8		9	
日	14	28	12	26	9	23	14	28	4	25	8	22
人数	8	7	6	8	8	6	7	8	7	8	8	7
月	10		11		12		R8. 1		2		3	
日	6	27	10	17	8	22	19	26	9	16	9	23
人数	4	7	6	7	7	9	8	7	7	8	8	7
計	173											

第6 ヘきなんヘルスキーパー事業

1 健康推進員・へきなんヘルスキーパーの歩み

(1) 目的

地域住民の自主的健康管理のために各種保健事業を企画および実施し、また市ならびに碧南市健康を守る会が行う事業を運営する。

(2) 健康推進員・へきなんヘルスキーパーの歩み

昭和 51 年 地区保健衛生組織育成事業開始（西端・天王地区）

昭和 52 年 各公民館保健衛生推進組織ができる（13か所）

昭和 57 年 保健衛生推進員市内全域に配置（25地区）

平成 元 年 名称を「保健衛生推進員」から「健康推進員」に改める

平成 23 年 健康推進員の地区を23地区（鷺塚・鷺林・旭町を1地区に統合）に変更

令和 6 年 健康推進員制度を廃止し、へきなんヘルスキーパー事業へ改める
家族検尿廃止

2 へきなんヘルスキーパー登録者数

23地区 58人

3 へきなんヘルスキーパー説明会

日時：令和7年5月28日（水）13時30分から

場所：碧南市役所 談話室1

内容：へきなんヘルスキーパーの活動について

参加人数：20人

4 公民館まつりにおける健康づくりの普及啓発

	実施日	会場	対象地区
1	令和7年11月2日（日）	新川公民館	久沓、田尻、西松江、東松江、鶴ヶ崎、千福、浜尾、東山、西山
2	令和7年11月9日（日）	中部公民館	道場山、天王、中山
3	令和7年11月16日（日）	農業者コミュニティセンター	西端
4	令和7年12月7日（日）	日進公民館	伏見屋、平七、流作、家下
5	令和8年1月18日（日）	棚尾公民館	棚尾

5 総合防災訓練

日時：令和7年11月9日（日）午前9時から12時

場所：鷺塚小学校

内容：(1)エコノミークラス症候群予防のための運動実技体験「避難生活でのからだところの整え方」（包括連携事業者中北薬品株式会社との連携事業）

(2)避難所での健康管理について

へきなんヘルスキーパー参加人数：4人

ブース来訪者数：73人

6 各地区へきなんヘルスキーパー関係事業

1 久沓地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数(人)
ラジオ体操	7月19日(土)	久沓公園	70
やさしいヨガ講座	11月30日(日)	久沓区民館	13

2 田尻地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数(人)
田尻区健康測定会	8月30日(土)	田尻区民館	34
防災時に役立つ カレー作り	10月12日(日)	田尻区民館 専興寺	100

3 西松江地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数(人)
歩け歩け	10月26日(日)	西松江区民館⇄ 明石公園内	50

4 鶴ヶ崎地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数(人)
マットピラティス 入門講座	9月7日(日)	コンビニフィットネ ス碧南	7

5 千福地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数(人)
早朝ウォーキング	5月18日(日)	斎宮社境内周辺	37

6 東山地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数(人)
さわやか ウォーキング	11月9日(日)	東山区民館⇄ 無我苑	77

7 大浜上地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数(人)
リンパマッサージ 体験講座	7月12日(土)	大浜上区民館	18

8 大浜下地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数（人）
バランスボール 教室	9月19日(金)	大浜下区コミュニテ ィーセンター	19
	11月29日(土)		20

9 東町内会地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数（人）
手作りしめ縄 作り教室	12月6日(土)	東町内会館	15

10 西部連合町内会地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数（人）
早朝ラジオ体操 歩け歩け運動	7月6日(日)	二本木荒子 神明社境内周辺道路	50
	7月13日(日)		
	7月20日(日)		
	7月27日(日)		
ふれあい スポーツ大会	10月19日(日)	二本木荒子神明社 境内	50

11 神有地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数（人）
健康チェック	8月13日(水)	神有区民館	64

12 鷺塚住宅地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数（人）
家族みんなで あそぼう	8月23日(土) 午前	鷺塚住宅集会所	18
運動と仲間でフレ イルをのりこえま しょう	8月23日(土) 午後	鷺塚住宅集会所	12

13 伏見屋地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数（人）
楽筆教室	11月1日(土)	伏見屋区民館	5
曼荼羅アート	1月11日(日)	伏見屋区民館	15

1 4 平七地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数（人）
多肉植物 寄せ植え教室	12 月 13 日（土）	霞浦会館	34

第7 自殺対策計画推進事業

1 自殺対策計画推進事業の歩み

平成31年3月 へきなん自殺対策計画策定（5年計画）

令和 元年 ゲートキーパー研修会を開始

令和6年3月 いのち支えるへきなん計画（第2次碧南市自殺対策計画）策定
（5年計画）

2 ゲートキーパー研修会

日 時	対 象	参加人数（人）	場所
8月22日（金） 午後1時30分～3時30分	学校教育課	50	文化会館 2階
1月14日（水） 午後1時30分～3時30分	市職員	67	市役所 大会議室
3月17日（火） 午後1時30分～3時30分	市民	18	市役所 会議室1

講師 株式会社オフィス・ウィズ 代表取締役 竹内和美氏
（プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー）

3 傾聴ボランティア養成講習会

(1) 目的

傾聴（相手の心に耳を傾け、話を聞く）に必要な心構えや技術などを学習することにより、傾聴のできるボランティアの養成を目的とする。

(2) 場所

市役所 会議室1

(3) 時間

午前10時から午後3時（休憩1時間）

(4) 講師

株式会社オフィス・ウィズ 代表取締役 竹内和美氏
（プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー）

(5) 内容・参加人数

	日 程	内 容（講義と実技）	参加人数（人）
1	12月12日（金）	・傾聴技術の基礎	8
2	12月19日（金）	・傾聴技術の基礎と応用	5

	日 程	内 容(講義と実技)	参加人数(人)
3	12月26日(金)	・ボランティアとして活動する心構え ・傾聴技術の取得と練習	6

実参加人数 8人

延参加人数 19人

(6) 実践研修

老人保健施設ひまわり、老人保健施設向陽にて実施

(7) へきなん傾聴の会(傾聴ボランティア団体)

平成25年2月26日発足会。平成25年4月より、へきなん傾聴の会会則に基づき、月1回定例会開催し、活動開始

ア 会員数: 7人(令和8年3月末日現在)

イ 定例会: 11回(月1回、8月中止) 延71人

ウ 傾聴活動: 個人宅訪問 延2回

施設活動 延149人

第8 碧南市健康づくり食ボランティア協議会

1 歩み

(1) 栄養教室

平成 6 年 地域での食生活の改善のための原動力として食生活改善推進員養成のための栄養教室を開始

平成 10 年 「食生活改善推進員養成のための栄養教室」を隔年開催とする

(2) 協議会

平成 9 年 地域保健法施行により食生活改善推進員養成事業が市町村に移行、碧南市健康づくり食生活改善協議会の設立総会を行う
(「A」、「B」、「むつみ」の3グループ)

愛知県食生活改善推進員連絡協議会に入会する

平成 11 年 「みどり」グループを新たに加え、4グループとなる

平成 19 年 「B」グループが脱会、「キャロット」グループを新設する

平成 22 年 愛知県食生活改善推進員連絡協議会から脱会する

全国食生活改善推進員協議会が「食生活改善推進員」を商標登録したことから、「碧南市健康づくり食生活改善協議会」の名称を「碧南市健康づくり食ボランティア協議会」と変更する

2 目的

地域活動をもってひとりひとりが「自分の健康は自分で守る」という自覚と認識を広めるとともに、食育や調理実習を通して正しい食生活の普及浸透を図り、地域住民の健康で文化的な食生活の維持・発展に寄与すること。

3 会員数

4 グループ 38人 (Aグループ8人、むつみグループ9人、
キャロットグループ14人、みどりグループ7人)

4 活動内容

グループ	A	むつみ	みどり	キャロット
時 間	毎月第2月曜日 午前9時30分～	毎月第2金曜日 午前9時30分～	毎月第2木曜日 午前9時30分～	毎月第2木曜日 午前9時30分～

※場所 保健センター

5 事業実施状況

(1) 協議会事業

(単位：人)

事業名	実施日	回数・内容	会員	市民	会 場
総会	4 月 30 日		19	—	保健センター
役員会	4 月から 3 月	全 4 回	30	—	保健センター
各グループ 活動など	4 月から 3 月	テーマ毎の 勉強会・打合せ 調理実習	246	—	保健センター
遊友の会 レシピ紹介	10 月 2 日	骨粗鬆症予防 レシピ紹介	4	39	社協西端出張所
	10 月 14 日				大浜まちなかサロン
	12 月 10 日				中部公民館
親子食育 クッキング	7 月 26 日	食育ゲーム・バラン ス食の調理実習	7	12	あいくる
合同研修会	11 月 25 日	お茶について 学ぶ	22	—	抹茶ミュージアム

(2) 市事業協力

(単位：人)

事業名	実施日	回数・内容	会員	市民	会 場
食育教室	5 月から 10 月	エプロンシアター10 回	20	417	市内保育園・ 幼稚園
会議	6 月 2 日	地産地消委員会	1	—	市役所
	6 月 10 日	食育推進委員会	1	—	市役所
離乳食教室 前期	4 月から 3 月	毎月 1 回試食作成	22	親子 93 組	保健センター
離乳食教室 後期	4 月から 2 月	偶数月 1 回 試食作成	12	親子 74 組	保健センター
離乳食教室 完了期	5 月から 3 月	奇数月 1 回 試食作成	12	親子 54 組	保健センター
国保事業	10 月 31 日	食事の準備提供	5	11	保健センター
糖尿病予防 教室	6 月 27 日	食事の準備提供	4	13	保健センター
	10 月 24 日	果物の準備提供	2	13	保健センター

6 碧南市健康づくり食ボランティア育成・活動支援

(1) 役員会

(単位：人)

	実施日	内 容	従事者	参加人数
1	4 月 16 日	令和 7 年度新旧役員顔合わせ 総会資料確認	健康課 栄養士	11
2	8 月 13 日	親子食育クッキング計画・エプロンシアター 報告、食ボランティア養成講座・遊友の会・ 合同研修会計画	健康課 栄養士	7
3	11 月 18 日	合同研修会・食ボランティア養成講座計画 各グループ活動状況報告	健康課 栄養士	4
4	3 月 4 日	食ボランティア養成講座計画、次年度役員 総会・活動計画について	健康課 栄養士	8

(2) 勉強会栄養講話

(単位：人)

実施日	内容	従事者	参加人数
5 月 9・12・14・15 日	骨粗しょう症予防について 献立作成時のポイント	健康課 栄養士	34
9 月 8・10・12・18 日	脂質異常症予防について 献立作成時のポイント	健康課 栄養士	33
12 月 8 日 1 月 14・15・23 日	低栄養予防について 献立作成時のポイント	健康課 栄養士	30

(3) 各グループ献立作成・栄養価計算支援等

(単位：人)

実施日	内容	従事者	参加人数
令和 7 年 5 月から 令和 8 年 3 月 (30 回)	骨粗しょう症・親子食育・脂質異常 症・低栄養予防等	健康課 栄養士	246

7 健康づくり食ボランティア養成講座

- (1) 目的 地域への食生活改善活動普及のリーダー役となる食ボランティア
会員を養成するために本事業を実施する。
- (2) 実施期間 8 月から 3 月 月 1 回 8 回コース 概ね午前 10 時から 12 時
- (3) 実施場所 碧南市保健センター

(4) 対象者 市内在住の成人 申込人数 8 名

実施内容 健康づくり・栄養の講話、食ボランティア活動紹介、グループワーク、調理実習、運動実習、食ボランティア会員との交流

(単位:人)

	実施日	内 容	従事者	参加人数
1	8 月 6 日	オリエンテーション、講話「へきなん健康づくり 21 プラン」グループワーク、会員活動紹介	管理栄養士	8
2	9 月 3 日	講話「離乳食について」「食品衛生」調理「乳幼児の発達に合わせた離乳食作り」	管理栄養士	8
3	10 月 1 日	講話「食品栄養成分の見方」演習「栄養価計算」	管理栄養士	8
4	11 月 5 日	講話「栄養知識と献立作成」グループワーク「献立作成」食ボランティア活動紹介	管理栄養士 食ボランティア 会長	8
5	12 月 17 日	講話「生活習慣病と健診結果の見方」「生活習慣病予防の食事」調理「肥満・糖尿病予防の食事」	保健師 管理栄養士	6
6	1 月 7 日	講話「高齢者の健康と介護予防」「低栄養改善と介護予防の食事」調理「低栄養を防ぐ食事」	保健師 管理栄養士	7
7	2 月 4 日	講話「健康づくりの運動と休養」運動実習「自宅で手軽にできる運動」調理「免疫力を整える食事」	保健師 運動講師 管理栄養士	8
8	3 月 25 日	修了証書授与式 グループワーク 食ボランティア会員との交流	保健師 管理栄養士 食ボランティア 役員	7

(5) 修了者数 8 名 (修了資格は全 8 回中 4 回以上参加した者)

(6) 食ボランティア会員申込状況: 6 名

第9 歯科保健事業

1 歯科保健の歩み

- 昭和36年 3歳児歯科健康診査開始
- 昭和48年 3歳児歯科健診部が健康を守る会小児保健部会に入る
- 昭和49年 市内保育園・幼稚園歯科口腔衛生講話とブラッシング指導開始
- 昭和50年 母親教室で歯科衛生教育開始
健康を守る会歯科保健部会設置
- 昭和51年 2歳児歯科健康診査フッ化物塗布開始
- 昭和52年 1歳6か月児歯科健康診査フッ化物塗布始まる。
2歳児歯科健康診査中止（10月）
- 昭和60年 成人歯科健康診査始まる
- 昭和62年 E6保護事業開始
寝たきり者歯科訪問治療県モデル地区指定（62年度まで）
- 昭和63年 寝たきり者歯科訪問治療開始（モデル事業を発展）（18年度まで）
- 平成2年 8020県民歯科保健運動に伴い表彰者の審査開始
妊婦歯科健康診査開始（成人歯科健康診査と同時）
市民歯科実態調査開始
- 平成3年 7520市民歯科保健運動開始
- 平成4年 歯槽膿漏個別健診開始（30・60・65歳）
- 平成5年 歯槽膿漏個別健診対象者の拡大
（40・50・70・75歳、妊婦歯科健康診査を移す）
- 平成6年 7520市民歯科保健運動を7521市民歯科保健運動に変更
- 平成7年 E6保護育成事業内容変更
- 平成8年 施設歯科健康診査及び口腔衛生指導開始
- 平成9年 幼児歯科健康診査フッ化物塗布開始
（2歳児・2歳4か月児・2歳8か月児）
妊婦歯科健康診査集団を開始
3歳児歯科健康診査にフッ化物塗布開始
- 平成10年 よい子のよい歯のコンクール対象者拡大
休日歯科診療所開所
- 平成11年 よい子の歯みがき運動開始
歯槽膿漏個別健診を歯周病個別健診に名称変更

- 平成 12 年 障害者歯科診療所開始
- 平成 13 年 よい子の歯みがき運動と E 6 保護育成事業が協賛し市内幼稚園保育園全園実施
歯周病個別健診対象者の拡大（4 5 歳）
- 平成 15 年 歯磨き習慣確立事業開始
6 0 2 4 歯科保健運動開始
歯周病個別健診対象者の拡大（5 5 歳）
- 平成 16 年 よい子のよい歯のコンクールにフッ化物塗布開始
歯の衛生週間に伴う歯科健診とフッ化物塗布の対象者を拡大（3 歳児追加）
集団妊婦歯科健康診査をマタニティークッキング教室と同日開催
- 平成 17 年 歯の衛生週間に伴う歯科健診とフッ化物塗布の対象者変更（6 か月児から 1 歳 5 か月児）
成人歯科健康診査実施回数増加（1 8 回）
- 平成 19 年 個別妊婦歯科健康診査開始（集団中止）
- 平成 24 年 休日・障害者歯科診療所を移設
- 平成 25 年 よい子のよい歯のコンクール中止し、歯っぴい検定開始
歯の衛生週間を歯と口の健康週間に名称変更
E 6 保護育成事業開始（委託事業中止）
歯磨き習慣確立事業フッ化物洗口用コップ配布中止
- 平成 26 年 歯磨き習慣確立事業市内全小学校 1 年生健康教育開始
- 平成 28 年 歯と口の健康週間事業と歯っぴい検定事業を同時に参加可とした
- 平成 29 年 歯と口の健康週間事業と歯っぴい検定事業を午前・午後で開催していたが午前のみで開催
- 令和元年 歯周病個別健診対象者の拡大（2 0 歳・妊婦のパートナー）
成人歯科健康診査実施回数変更（1 2 回）
- 令和 2 年 歯と口の健康週間事業と歯っぴい検定事業とよい子の歯みがき運動を中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）
8 0 2 0 歯科保健運動に伴う表彰式を各歯科医療機関にて実施（新型コロナウイルス感染拡大防止のため市民ふれあいフェスティバル中止）
- 令和 3 年 歯と口の健康週間事業、歯っぴい検定事業、E 6 保護育成事業を中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

- 令和4年 歯と口の健康週間事業を中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）
3か月児健康診査集団を開始
- 令和5年 歯と口の健康週間事業を中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）
8020歯科保健運動に伴う表彰式を市役所にて実施
- 令和6年 後期高齢者歯科健康診査事業（75歳）を開始
幼児歯科健康診査フッ化物塗布事業対象者変更（2歳児・2歳6か月児）
歯のけんこう教室（母子健康手帳交付時に初産婦を対象に集団指導）中止
- 令和7年 後期高齢者歯科健康診査事業（77歳）を開始
歯と口の健康週間事業を再開

2 妊婦歯科健康診査

(1) 事業概要

妊婦を対象に市内32指定医療機関で実施

(2) 目的

妊娠中は、歯牙・歯周疾患が進行しやすいため、その早期発見・早期治療を目的とする。

(3) 健診内容

ア 歯牙状況 イ C P I 判定 ウ 口腔内所見

(4) 健診期間

令和7年4月1日から令和8年3月31日

(5) 歯科健診状況

対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診割合 (%)	1人あたりの 現在歯数 (本)	1人あたりの う歯数 (本)	進行した歯 周炎のある 人の割合 (%)
481	165	34.3	28.1	6.6	39.4

3 パートナー歯科健康診査

(1) 事業概要

妊婦のパートナーを対象に市内32指定医療機関で実施

(2) 目的

歯を失う大きな原因となっている歯周病を早期に発見し、治療を行うことにより、市民の健康保持と増進を図る。

(3) 健診内容

ア 歯牙状況 イ CPI判定 ウ 口腔内所見

(4) 健診期間

令和7年4月1日から令和8年3月31日

(5) 歯科健診状況

実施者数 (人)	1人あたりの 現在歯数 (本)	1人あたりのう歯 数 (本)	進行した歯周炎の ある人の割合 (%)
90	28.7	6.5	36.7

4 1歳6か月児歯科健康診査

(1) 目的

乳前歯が萌出し、子どもの歯の健康に関心が高まるこの時期に、歯科疾患の早期発見・早期予防につとめ、また家庭で子どもの歯科疾患の予防ができるよう、更なる知識の普及を図る。

(2) 内容

ア 歯科健診 イ 個別相談 ウ フッ化物塗布 エ 要精検者の追跡

(3) 実施回数

月2回(年24回)

(4) 歯科健診状況

対象者数	実施者数	フッ化物 塗布者数	むし歯の ある者数	1人あたり のう歯数
496人	487人(98.2%)	379人(77.8%)	3人(0.6%)	0.01本

(5) むし歯の罹患状況 (単位：人)

○1型	○2・要指導	○2・要観察	A型	B型	C型
260	151	73	2	0	1

(6) その他の状況 (単位：人)

指しゃぶりの ある者	おしゃぶりの ある者	歯列・咬合異 常のある者	軟組織異常の ある者	その他の異常 のある者
2	1	11	15	22

5 2歳児歯科健康診査

(1) 目的

乳臼歯が萌出しはじめ、う蝕が急増するこの時期に、歯科疾患予防のための正しい生活習慣を身につけ、歯科に対する意識の向上を図る。

(2) 内容

ア 歯科健診 イ 個別相談 ウ フッ化物塗布 エ 要精検者の追跡

(3) 実施回数

月 1 回 (年 1 2 回)

(4) 歯科健診状況

対象者数	実施者数	フッ化物 塗布者数	むし歯の ある者数	1 人あたり のう歯数
530 人	285 人 (53.8%)	256 人 (89.8%)	1 人 (0.4%)	0.01 本

(5) むし歯の罹患状況 (単位:人)

○ 1 型	○ 2 ・ 要指導	○ 2 ・ 要観察	A 型	B 型	C 型
138	87	59	1	0	0

(6) その他の状況 (単位:人)

指しゃぶりの ある者	おしゃぶりの ある者	歯列・咬合異常 のある者	軟組織異常の ある者	その他の異常 のある者
8	2	17	7	9

6 2歳6か月児歯科健康診査

(1) 目的

乳臼歯が萌出しはじめ、う蝕が急増するこの時期に、歯科疾患予防のための正しい生活習慣を身につけ、歯科に対する意識の向上を図る。

(2) 内容

ア 歯科健診 イ 個別相談 ウ 染め出し エ フッ化物塗布

オ 要精検者の追跡

(3) 実施回数

月 1 回 (年 1 2 回)

(4) 歯科健診状況

対象者数	実施者数	フッ化物 塗布者数	むし歯の ある者数	1 人あたり のう歯数
552 人	265 人 (48.0%)	246 人 (92.8%)	4 人 (1.5%)	0.04 本

(5) むし歯の罹患状況 (単位:人)

○ 1 型	○ 2 ・ 要指導	○ 2 ・ 要観察	A 型	B 型	C 型
110	86	65	4	0	0

(6) その他の状況 (単位:人)

指しゃぶりの ある者	おしゃぶりの ある者	歯列・咬合異常 のある者	軟組織異常の ある者	その他の異常 のある者
7	1	18	7	16

7 3歳児歯科健康診査

(1) 目的

乳歯列完成期にあたるこの時期に、歯科疾患を予防するための生活習慣が身についているかどうか確認し、今後萌出してくる永久歯も含めて歯科疾患の予防が家庭でできるよう支援する。

(2) 内容

ア 歯科健診 イ 個別相談 ウ フッ化物塗布 エ 要精検者の追跡

(3) 実施回数

月2回 (年24回)

(4) 歯科健診状況

対象者数	実施者数	フッ化物 塗布者数	むし歯の ある者数	1人あたり のう歯数
602人	592人(98.3%)	411人(69.4%)	21人(3.5%)	0.10本

(5) むし歯の罹患状況 (単位:人)

○1型	○2・要指導	○2・要観察	A型	B型	C型
248	184	139	15	0	6

(6) その他の状況 (単位:人)

指しゃぶりの ある者	おしゃぶりの ある者	歯列・咬合異常 のある者	軟組織異常の ある者	その他の異常 のある者
14	2	46	7	21

8 保育園・幼稚園の歯科健診状況

	むし歯のある子の割合(%)			1人あたりのう歯数(本)		
	年少児	年中児	年長児	年少児	年中児	年長児
7年度	5.1	10.3	14.6	0.21	0.34	0.55
6年度	4.7	10.5	22.3	0.15	0.37	0.86

資料: 愛知県東浦東部保健所 地域歯科保健業務状況報告 (令和6年度・令和7年度)

9 歯科相談

(1) 目的

歯と口に関する心配や不安を軽減し、よりよい生活が送れるようにする。

(2) 実施方法

個別面接または家庭訪問

(3) 実施状況

(単位：人)

	実施回数	乳幼児
個別歯科相談	14	36
訪問口腔衛生指導	2	2

10 よい子の歯みがき運動

(1) 目的

第一大臼歯が萌出しはじめる時期の子どもたちが、自分で歯を健康に保つための習慣や知識を身につけるとともに、8020運動を推進し生涯を通じた歯の健康づくりに役立てるように支援する。

(2) 対象

年長児、年中児、年少児

(3) 内容

歯科衛生士による講話等

ア 口の体操等 イ 歯みがきの練習 ウ うがいの練習 エ 第一大臼歯について

(4) 実施状況

施設数（箇所）		参加園児数（人）
幼稚園	5	358
保育園	13	1,009
認定こども園	3	241
合 計	21	1,608

11 E6保護育成事業

(1) 目的

第一大臼歯が萌出しはじめる時期の子どもたちが、自分で歯を健康に保つための習慣や知識を身につけるとともに、保護者に歯科疾患予防に関して学習する機会をつくり、8020を達成するために必要とされる「第一大臼歯」を親子で保護育成できるように支援する。

(2) 対象

年少児、年中児、年長児

年長児の保護者

(3) 内容

ア 歯科衛生士による講話

イ 染め出しにて磨き残しの確認（年長児）

ウ 仕上げみがき（年長児）

エ 歯科医師による講話（年長児保護者）

(4) 実施状況

施設数（箇所）		参加園児数（人）	保護者数（人）
幼稚園	5	341	114
保育園	13	960	329
認定こども園	3	250	54
合 計	21	1,551	497

1 2 歯と口の健康週間に伴う親子歯科健診

(1) 目的

乳歯が萌出しはじめた子どもが、歯みがきや食生活など、う蝕予防を目的とした生活習慣を身につけることができるように支援する。

(2) 対象

6か月児から1歳5か月児とその保護者

（令和6年1月1日から令和6年12月31日生まれの親子）

(3) 内容

ア 問診（保護者記入） イ 親子の歯科健診、フッ化物塗布

(4) 実施状況

実施日	対象者数	児参加者数	児参加の割合	保護者参加者数
6月1日（日）午前	496人	208人	41.9%	243人

1 3 歯っぴい検定

(1) 目的

口の健康の維持・増進について問題意識を高め、正しい口腔ケアを毎日楽しく続け、歯科口腔衛生の普及を図る。

(2) 対象

年長児

(令和3年4月2日から令和4年4月1日生まれの児)

(3) 内容

ア 問診

イ 口腔内審査・フッ化物塗布

(4) 実施状況

実施日	対象者数	参加者数	参加の割合	1級	2級	3級
6月1日(日)午前	588人	154人	26.2%	65人	77人	12人

1.4 歯みがき習慣確立事業

(1) 目的

小学校入学に向けて保護者に対し、子どものむし歯や歯肉の病気予防に必要な歯の磨き方や正しい食生活について、また、子ども自身に歯や口の健康を保つ習慣を身につけてもらう。

(2) 対象

市内小学校1年生とその保護者

(3) 内容

ア 入学説明会にて保護者を対象に講話

イ 1年生に対してクラス毎に講話およびフッ化物洗口

(4) 実施状況

ア

施設数	実施者数(人)
7	611

イ

小学校名	クラス数	実施者数(人)
棚尾小学校	4	114
中央小学校	4	85
大浜小学校	5	123
新川小学校	5	110
西端小学校	2	58
日進小学校	3	63
鷺塚小学校	4	108
計	27	661

1 5 歯周病個別健診

(1) 目的

生涯健康な自分の歯で食べることができることを目標とし、成人期から増加する歯周病の予防を中心に、口腔衛生の周知、啓発をし、歯周疾患の早期発見、早期治療を推進する。

(2) 対象

年度中に20、30、40、45、50、55、60、65、70、75、77歳の誕生日を迎える市民

(3) 内容

ア 歯牙状況 イ C P I 測定 ウ 口腔内所見

(4) 実施期間

令和7年4月1日から令和8年3月31日

(5) 実施機関

市内32指定医療機関

(6) 実施状況

	20歳	30歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	65歳	70歳	75歳	77歳	計
対象者数(人)	781	867	939	972	1024	1022	932	790	750	840	833	9,750
受診者数(人)	68	40	105	80	132	111	151	161	162	197	200	1,407
受診者の割合(%)	8.7	4.6	11.2	8.2	12.9	10.9	16.2	20.4	21.6	23.5	24.0	14.4
平均現在歯数(本)	28.4	28.7	28.4	28.2	28.1	27.3	27.0	26.5	25.0	23.6	23.7	26.2
歯周炎の割合(%)	32.4	67.5	48.6	61.3	56.9	50.4	58.9	53.5	56.8	58.9	57.5	55.3

1 6 成人歯科健診

(1) 目的

生涯健康な自分の歯で食べることができることを目標とし、成人期から増加する歯周病の予防を中心に、口腔衛生の周知、啓発をし、歯周疾患の早期発見、早期治療を推進する。

(2) 対象

18歳以上の市民

(3) 内容

ア 歯牙状況 イ C P I 測定 ウ 口腔内所見 エ 歯間補助道具の紹介
オ 要精検者の追跡

(4) 実施回数

生活習慣病予防健診に併せて実施

毎月第２木曜日（年１２回）

(5) 実施状況

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
受診者数（人）	18	26	14	6	22	15	2	103
平均現在歯数（本）	28.2	28.7	28.9	27.2	27.7	25.9	22.5	27.8
歯周炎の割合（％）	5.6	7.7	21.4	16.7	36.4	53.3	50.0	23.3

17 後期高齢者歯科健康診査

(1) 目的

後期高齢者の口腔機能低下の予防及び肺炎等の疾病予防を図り、健康増進に資することを目的とする。

(2) 対象

75歳、77歳（歯周病個別健診受診者）

(3) 内容 口腔機能評価検査

ア 問診４項目 イ 咀嚼能力状態 ウ 舌口唇運動機能状態 エ 嚥下機能状態

(4) 実施状況

		75歳		77歳	
対象者数		840人		833人	
受診者数		194人		194人	
口腔機能判定結果	問題なし	91人	46.9%	107人	55.2%
	要指導	73人	37.6%	63人	32.5%
	要精密検査	30人	15.5%	24人	12.3%

18 6024・7521・8020歯科保健運動

(1) 目的

健康で豊かな老後を迎えるために生涯自分の歯でかみ味わうことを目標に、6024（ろくまるにいいん）、7521（ななごうにいいち）、8020（はちまるにいいまる）、歯科保健運動を行い、啓発・普及を図る。

(2) 表彰者数状況

区分	対象者数 （人）	受診者数 （人）	受診率 （％）	達成者数 （人）	達成者率 （％）
6024 歯科保健運動	932	151	16.2	141	93.4

区分	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	達成者数 (人)	達成者率 (%)
7 5 2 1 歯科保健運動	840	197	23.5	156	79.2
8 0 2 0 歯科保健運動	449	60	13.4	59	98.3

(3) 表彰場所

	表彰年月日	会場
6 0 2 4 歯科保健運動	表彰については、各医療機関にて実施	
7 5 2 1 歯科保健運動	表彰については、各医療機関にて実施	
8 0 2 0 歯科保健運動	令和7年12月2日(火)	碧南市役所

1 9 歯科健康教育

事業名	対象者	実施回数(回)	実施者数(人)
3か月児健康診査(集団)	3か月児	24	445
離乳食教室(前期)	4か月から6か月児	12	94
離乳食教室(後期)	7か月から11か月児	6	74
離乳食教室(完了期)	1歳から1歳半頃	6	54
子育て支援センター	就園前児	4	20
のびのび教室	就園前児	1	10
生活習慣病若年化対策事業	小学校4年生と親	4	60
けんこう講座(西端小)	小学校3年生	1	125
けんこう講座(西端小)	小学校4年生	8	265
けんこう講座(西端中)	中学校1年生	1	65
けんこう講座(東中)	中学校支援クラス	1	13
養護教諭・保育士研修	養護教諭・保育士	1	53
高齢者教室(日進地区)	65歳以上	1	17
出前講座(クリーン保育園)	就園児	1	22
出前講座(ころころ)	精神障害者	1	14
出前講座(ケアラズカフェれんげ草)	65歳以上	1	10
出前講座(JA あいち中央デパート 碧南)	65歳以上	1	36

事業名	対象者	実施回数（回）	実施者数（人）
フレイル予防教室	65歳以上	1	8
おたっしや大学	65歳以上	1	60
遊友の会	65歳以上	7	104
糖尿病講座	一般	1	13

第 10 生活習慣病対策事業

1 生活習慣病対策事業の歩み

昭和 60 年	成人病若年化対策事業開始 市内 5 中学校の 1 年生の希望者に、食生活調査と肥満度・血圧測定・血液検査（白血球・赤血球・血色素・ヘマトクリット）を実施
昭和 61 年	血液検査対象者に中学 2 年生（前年度要再検査者）を追加
昭和 62 年	血液検査項目に、総コレステロール・中性脂肪・総蛋白・無機リン・カルシウムを追加 血液検査対象者に日進小学校 4 年生・5 年生を追加 小学 4 年生を対象に栄養調査を開始 モデル校：日進小学校
昭和 63 年	血液検査対象者に、市内 7 小学校の 4 年生・5 年生（前年度要再検査者）を追加 栄養調査モデル校：新川小学校 小冊子「子供たちの健康読本」を作製
平成元年	血液検査項目より、特別の異常者にしか反応しない無機リン・カルシウムを中止 血液検査実施者に小冊子「子供たちの健康読本」の配付開始 栄養調査モデル校：中央小学校
平成 2 年	栄養調査モデル校：大浜小学校
平成 3 年	血液検査項目に、HDL コレステロールを追加 皮脂厚測定を開始 小学校 2 校（日進小学校 4 年生・西端小学校 4 年生）と中学校 1 校（西端中学校 1 年生） 栄養調査モデル校：棚尾小学校
平成 4 年	血液検査項目に、血糖、LDL コレステロール、動脈硬化指数を追加 成人病若年化対策事業専用の健診結果表を作製 栄養調査モデル校：日進小学校
平成 5 年	判定の統一化を図るため判定基準を一律にする 小冊子「子供たちの健康読本」を見直し再作製 栄養調査モデル校：鷺塚小学校
平成 6 年	判定基準値の変更

血色素 男子 12.5～18.0 g /dl → 11.4～16.0 g /dl
 女子 12.0～16.0 g /dl → 11.4～16.0 g /dl
 血糖値 男女 70～140m g /dl → 75～110m g /dl
 総蛋白 男女 6.5～8.0 g /dl → 6.5～8.2 g /dl
 ヘマトクリット 男子 36.0～50.0% → 35.7～46.5%
 女子 35.0～48.0% → 35.7～46.5%
 HDL コレステロール 男女 40～80m g /dl
 → 32～100m g /dl
 LDL コレステロール 男女 70～140m g /dl
 → 48～150m g /dl

小冊子「子供たちの健康読本」を見直し再作製

栄養調査モデル校：西端小学校

平成 7 年 総合判定を基準値による一律の判定から校医の判定とする

栄養調査モデル校：新川小学校

平成 8 年 判定基準値の変更

血糖値 男女 75～110m g /dl → 70～120m g /dl

総蛋白 男女 6.5～8.2 g /dl → 6.2～8.2 g /dl

小冊子「子供たちの健康読本」を毎年作製とする

栄養調査モデル校：中央小学校

平成 9 年 栄養調査モデル校：大浜小学校

平成 10 年 栄養調査モデル校：棚尾小学校

平成 11 年 栄養調査モデル校：日進小学校

平成 12 年 事業名の変更 成人病若年化対策事業 → 生活習慣病対策事業

栄養調査モデル校：鷺塚小学校

平成 13 年 栄養調査モデル校：西端小学校

平成 14 年 皮脂厚測定を中止

栄養調査モデル校：新川小学校

平成 15 年 栄養調査モデル校：中央小学校

平成 16 年 栄養調査モデル校：大浜小学校

平成 17 年 栄養調査モデル校：棚尾小学校

健診結果票の変更（個人情報保護）

平成 18 年 栄養調査モデル校：日進小学校

- 平成 19 年 栄養調査モデル校：鷺塚小学校
- 平成 20 年 「愛知県学童期生活習慣病対策事業」のモデル指定をうけ、当該年度 4 年生を対象として、3 年間追跡調査を行い、メタボリックシンドローム・生活習慣病の予防を目指す。小学 4 年生の血液検査のみ、空腹時採血とする
- 平成 21 年 平成 20 年度に引き続き、モデル事業として「愛知県学童期生活習慣病対策事業」は 5 年を迎える児童を対象に実施する。本年度は検査項目に肝機能の検査（G O T，G P T）を加える。小学生の血液検査は空腹時採血
- 平成 22 年 モデル事業の「愛知県学童期生活習慣病対策事業」は、6 年を迎える児童を対象に実施
- 平成 23 年 中学生の血液検査を空腹時採血とする。平成 20 年度から 23 年度の「愛知県学童期生活習慣病対策事業」で行った小学 4 年生を対象とした保健指導を継続実施
岐阜大学による「学童における生活習慣と健康に関する前向き研究」に協力。調査対象は平成 27 年までの小学 1 年生
- 平成 25 年 「碧南市生活習慣病若年化対策事業」（D V D）を協力作成し、公益財団法人碧南市健康増進会により発行
- 平成 26 年 岐阜大学による「学童における生活習慣と健康に関する前向き研究」の調査対象が平成 30 年まで小学 4 年生となる
- 平成 29 年 岐阜大学による「学童における生活習慣と健康に関する前向き研究」の調査対象が令和 3 年まで中学 1 年生となる
- 令和元年 岐阜大学による「学童における生活習慣と健康に関する前向き研究」の調査対象が令和 5 年まで中学 3 年生となる
- 令和 7 年 研究者の異動に伴い、国立がん研究センターがん対策研究所が共同研究機関に加わる。

2 生活習慣病若年化対策事業

(1) 事業概要

小学 4 年生と中学 1 年生を対象に、血液検査・血圧測定などを実施し、子どものころからの適切な食生活や生活習慣を身につけることで、将来の生活習慣病を予防する。

また、メタボリックシンドローム予防のための生活習慣を定着させること

をめざし、個々の健康増進を図る。

(2) 検査内容等

身長・体重測定、血圧測定、腹囲測定、血液検査（空腹時）、生活習慣アンケート

(3) 実施時期

血液検査・身体測定等：令和7年5月から6月

(4) 対象

市内の小学校（4年生）7校および中学校（1年生）5校

3 生活習慣病若年化対策事業結果

(1) 検査数

ア 小学4年生

学校名	男子			女子			合計		
	対象者	被検査者		対象者	被検査者		対象者	被検査者	
	人	人	%	人	人	%	人	人	%
新川小	71	62	87.3	63	54	85.7	134	116	86.6
中央小	56	41	73.2	46	36	78.3	102	77	75.5
大浜小	44	39	88.6	55	48	87.3	99	87	87.9
棚尾小	49	42	85.7	54	49	90.7	103	91	88.3
日進小	37	30	81.1	27	24	88.9	64	54	84.4
鷺塚小	56	53	94.6	55	53	96.4	111	106	95.5
西端小	33	29	87.9	33	29	87.9	66	58	87.9
合 計	346	296	85.5	333	293	88.0	679	589	86.7

イ 中学1年生

学校名	男子			女子			合計		
	対象者	被検査者		対象者	被検査者		対象者	被検査者	
	人	人	%	人	人	%	人	人	%
新川中	64	58	90.6	66	57	86.4	130	115	88.5
中央中	52	41	78.8	48	45	93.8	100	86	86.0
南 中	118	113	95.8	102	90	88.2	220	203	92.3
東 中	75	70	93.3	80	69	86.3	155	139	89.7
西端中	38	32	84.2	27	26	96.3	65	58	89.2
合 計	347	314	90.5	323	287	88.9	670	601	89.7

(2) 検査結果及び保健指導対象数

ア 小学4年生

学校名	性別	被検者	検 査 結 果							
			異常なし		要注意		要受診		保健指導	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
			人	%	人	%	人	%	人	%
新川小	男	62	28	45.2	16	25.8	18	29.0	12	19.4
	女	54	24	44.4	17	31.5	13	24.1	7	13.0
中央小	男	41	22	53.7	9	22.0	10	24.4	9	22.0
	女	36	26	72.2	6	16.7	4	11.1	2	5.6
大浜小	男	39	17	43.6	11	28.2	11	28.2	8	20.5
	女	48	26	54.2	13	27.1	9	18.8	9	18.8
棚尾小	男	42	39	92.9	2	4.8	1	2.4	1	2.4
	女	49	40	81.6	6	12.2	3	6.1	5	10.2
日進小	男	30	14	46.7	8	26.7	8	26.7	8	26.7
	女	24	17	70.8	3	12.5	4	16.7	2	8.3
鷺塚小	男	53	24	45.3	9	17.0	20	37.7	11	20.8
	女	53	31	58.5	17	32.1	5	9.4	5	9.4
西端小	男	29	14	48.3	9	31.0	6	20.7	3	10.3
	女	29	20	69.0	4	13.8	5	17.2	2	6.9
計	男	296	158	53.4	64	21.6	74	25.0	52	17.6
	女	293	184	62.8	66	22.5	43	14.7	32	10.9
合計		589	342	58.1	130	22.1	117	19.9	84	14.3

※ 被検者には、血圧・腹囲測定のみも含む

イ 中学1年生

学校名	性別	被検者	検 査 結 果							
			異常なし		要注意		要受診		保健指導	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
			人	%	人	%	人	%	人	%
新川中	男	58	34	58.6%	11	19.0%	13	22.4%	6	10.3%
	女	57	34	59.6%	14	24.6%	9	15.8%	5	8.8%
中央中	男	41	20	48.8%	8	19.5%	13	31.7%	12	29.3%
	女	45	20	44.4%	11	24.4%	14	31.1%	6	13.3%
南中	男	113	54	47.8%	27	23.9%	32	28.3%	20	17.7%
	女	90	31	34.4%	34	37.8%	25	27.8%	13	14.4%
東中	男	70	45	64.3%	11	15.7%	14	20.0%	10	14.3%
	女	69	44	63.8%	13	18.8%	12	17.4%	12	17.4%
西端中	男	32	19	59.4%	8	25.0%	5	15.6%	3	9.4%
	女	26	15	57.7%	7	26.9%	4	15.4%	6	23.1%
計	男	314	172	54.8%	65	20.7%	77	24.5%	51	16.2%
	女	287	144	50.2%	79	27.5%	64	22.3%	42	14.6%
合計		601	316	52.6%	144	24.0%	141	23.5%	93	15.5%

※ 被検者には、血圧・腹囲測定のみも含む

(3) 血液検査等の要受診者の状況

ア 小学4年生

学校名	要受診者数	要受診者の事後状況		
		受診・異常なし	受診・異常あり	未受診
	人	人	人	人
新川小	31	15	6	10
中央小	14	6	8	0
大浜小	20	5	10	5
棚尾小	4	1	2	1
日進小	12	2	6	4
鷺塚小	25	7	7	11
西端小	11	6	1	4
合 計	117	42	40	35
割合 (%)		35.9	34.2	29.9

○要受診者のうち、受診結果で異常を認めた者の内訳（重複あり）（単位：人）

診 断 名	人数	診 断 名	人数
コレステロール高値	14	貧血	1
中性脂肪高値	10	肝機能障害	8
血糖高値	0	その他 *1	13
白血球高値	1		

*1 その他の内訳

- ・肥満症（傾向含む） 8人
- ・脂肪肝 1人
- ・白血球軽度低値 4人
- ・最低血圧高値 1人
- ・軽度鉄欠乏性貧血 1人
- ・高値血圧 1人

○保健指導対象者の状況

学校名	保健指導対象者	対象者の総合判定		申し込み状況		
		要注意	要受診	健康へゴー！ *1	保健室指導 *2	不参加
	人	人	人	人	人	人
新川小	19	14	5	5	3	11
中央小	11	7	4	0	3	8

学校名	保健指導対象者	対象者の総合判定		申し込み状況		
		要注意	要受診	健康へゴー！ * 1	保健室指導 * 2	不参加
	人	人	人	人	人	人
大浜小	17	6	11	3	5	9
棚尾小	6	5	1	2	1	3
日進小	10	3	7	2	2	6
鷺塚小	16	7	9	2	3	11
西端小	5	2	3	0	2	3
合 計	84	44	40	14	19	51
割合 (%)		52.4	47.6	16.7	22.6	60.7

* 1 健康づくり教室「健康へゴー！」（生活習慣病改善プログラム）

* 2 養護教諭による保健指導「すくすく教室」

イ 中学1年生

学校名	要受診者数	要受診者の事後状況		
		受診・異常なし	受診・異常あり	未受診
	人	人	人	人
新川中	22	7	6	9
中央中	27	11	8	8
南 中	57	22	19	16
東 中	26	11	8	7
西端中	9	2	4	3
合 計	141	53	45	43
割合 (%)		37.6	31.9	30.5

○要受診者のうち、受診結果で異常を認めた者の内訳（重複あり）（単位：人）

診 断 名	人数	診 断 名	人数
コレステロール高値	7	貧血	6
中性脂肪高値	6	肝機能障害	5
血糖高値	0	その他 *1	22
白血球高値	4		

* 1 その他の内訳

・やせ	11人	・肥満症（傾向含む）	5人
・過体重	1人	・多血症	1人

- ・脂肪肝 1人 ・赤血球数の高値 1人
- ・ヘモグロビン、ヘマトクリット高値 1人
- ・インスリン高値 1人

○保健指導対象者の状況

学校名	保健指導 対象者	対象者の総合判定		保健室指導	
		要注意	要受診	参加	不参加
	人	人	人	人	人
新川中	11	5	6	10	1
中央中	18	8	10	15	3
南 中	33	19	14	29	4
東 中	22	12	10	17	5
西端中	9	6	3	8	1
合 計	93	50	43	79	14
割合 (%)		53.8	46.2	84.9	15.1

※ その他の活動

- 新川中 「健康分析集会～血液検査の結果から～」(1年生全員)
- 南中 「学校保健委員会」(1年生全員)
- 中央中 「保健集会」(1年生全員)

(4) 血液検査平均値 (M) 標準偏差値 (SD)

ア 小学4年生

性別	男子			女子		
対象数	296 人			293 人		
項目	M	SD	M± 2 SD	M	SD	M± 2 SD
身長	132.83	5.89	121.7～145.2	133.52	6.06	122.3～146.2
体重	30.6	7.18	21.1～48.3	30.48	6.34	21.3～46.7
腹囲	58.23	9.19	46.3～79.6	56.19	7.43	46.0～72.6
腹囲/身長比	0.44	0.06	0.356～0.573	0.42	0.05	0.352～0.525
肥満度	2.37	16.72	-19.9～44.2	1.47	13.63	-17.7～33.6
最高血圧	104.07	10.07	86.0～125.6	104.83	9.94	86.7～125.5
最低血圧	61.13	7.55	45.4～75.2	61.62	7.48	48.6～77.2
白血球	6386.34	1796.98	3898～10110	6031.53	1399.78	4123～9658
赤血球	483.46	29.40	431.5～546.4	475.51	27.64	423.5～532.6
血色素量	13.31	0.72	11.96～14.76	13.24	0.65	11.94～14.39
ヘマトクリット	40.52	2.00	36.72～44.67	40.56	1.88	36.70～43.91
平均赤血球容積	83.93	3.02	78.3～89.1	85.42	3.16	80.1～91.0
平均赤血球血色素量	27.57	1.16	25.44～29.44	27.89	1.22	25.97～29.97
平均赤血球血色素濃度	32.84	0.73	31.50～34.27	32.65	0.69	31.29～33.96
血糖	87.16	5.67	76.7～98.9	87.15	6.01	77.6～97.2
総蛋白量	7.28	0.34	6.63～7.96	7.33	0.34	6.68～8.00
総コレステロール	173.29	26.77	125.7～230.4	173.88	29.86	123.6～229.4
HDL コレステロール	66.8	14.60	41.4～97.1	63.87	11.58	41.3～87.1
LDL コレステロール	92.31	22.97	55.4～146.3	94.93	25.62	54.8～142.6
動脈硬化指数	1.70	0.65	0.83～3.33	1.79	0.61	0.95～3.15
中性脂肪	58.50	32.89	22～148	66.19	38.96	27～148
AST (GOT)	25.99	7.61	18.9～34.9	23.80	3.74	17.6～32.3
ALT (GPT)	15.93	13.08	9.1～28.6	12.94	6.75	7.6～21.0

イ 中学 1 年生

性別	男子			女子		
対象数	314 人			287 人		
項目	M	SD	M± 2 SD	M	SD	M± 2 SD
身長	152.69	8.31	137.4～170.1	152.26	5.65	140.5～163.5
体重	43.92	10.11	28.8～68.5	44.37	8.57	30.1～60.6
腹囲	64.48	9.30	51.8～86.5	62.97	7.11	52.3～79.8
腹囲/身長比	0.42	0.06	0.346～0.546	0.41	0.04	0.348～0.514
肥満度	-0.04	15.82	-21.6～41.3	-0.02	16.35	-24.3～37.6
最高血圧	108.13	10.61	88.0～129.8	107.01	8.62	90.0～124.1
最低血圧	61.27	8.53	44.9～78.6	61.62	7.82	46.6～77.6
白血球	6091.59	1670.54	3625～10026	6291.78	1637.89	3765～9803
赤血球	496.62	31.26	432.7～556.1	470.46	30.66	414.6～533.4
血色素量	13.96	0.84	12.29～15.62	13.38	0.91	11.73～14.99
ヘマトクリット	42.41	2.45	37.10～46.79	41.20	2.46	36.18～45.77
平均赤血球容積	85.49	3.26	79.1～92.0	87.68	3.49	81.1～93.9
平均赤血球血色素量	28.14	1.28	25.61～30.44	28.47	1.54	25.69～30.97
平均赤血球血色素濃度	32.92	0.71	31.54～34.29	32.46	0.85	30.96～34.03
血糖	89.48	5.56	79.0～100.7	87.60	5.96	76.9～99.2
総蛋白量	7.43	0.38	6.70～8.18	7.45	0.39	6.76～8.27
総コレステロール	168.53	27.77	122.5～231.1	168.03	24.39	124.0～220.0
HDL コレステロール	63.36	12.87	42.1～92.8	64.66	12.42	43.2～91.9
LDL コレステロール	91.40	23.63	51.7～143.7	89.85	19.41	56.7～132.2
動脈硬化指数	1.75	0.63	0.81～3.23	1.66	0.50	0.85～2.71
中性脂肪	63.56	36.44	26～154	67.93	34.61	27～172
AST (GOT)	23.12	5.60	15.6～34.2	18.73	3.52	13.1～26.8
ALT (GPT)	16.15	10.50	8.8～35.4	11.22	3.75	6.2～18.0

第11 へきなん健康づくり21プラン推進事業

1 へきなん健康づくり 21 プラン推進事業の歩み

平成 15 年　へきなん健康づくり 21 プラン（第一次）策定（10 年計画）

平成 19 年　へきなん健康づくり 21 プラン（第一次）中間評価

平成 26 年 へきなん健康づくり 21 プラン（第二次）策定（10 年計画）

平成 26 年　へきなん健康づくり 21 プラン推進イベント開始

平成 27 年　へきなん健康マイレージ事業開始

令和 元年　へきなん健康づくり21プラン（第二次）中間評価・見直し

令和 7 年 3 月 第 3 次へきなん健康づくり 21 プラン策定（10 年計画）

2 へきなん健康づくり21プラン推進事業

(1) 目的

第3次へきなん健康づくり21プラン推進のために、全市的に碧南市の健康課題、健康づくりについて普及啓発をはかる。

(2) 対象

市民

(3) 実施状況

ア 午前部 無料健康チェック

日時 令和7年12月10日（水） 午前10時から11時30分

実施場所 碧南市役所 1 階 多目的ホール

内容 (ア) 握力測定、血管年齢測定 (出展：カーブス)

参加人数 91人

(イ) 疲労ストレスチェック、肌診断（出展：日本生命保険相互会社）

参加人数 47人

(ウ) ベジチェック (出展：中北薬品株式会社)

参加人数 60人

イ 午後の部 第3次へきなん健康づくり21プラン推進講演会

日時 令和7年12月10日（水） 午後1時30分から3時

実施場所 碧南市役所2階 大会議室

内容 講演 「人生１００年時代」を豊かに生きるために、軽運動で体も脳も活性化！～みんなでスローエアロビック～

講師 日本スポーツ協会公認エアロビックコーチ
NPO 法人東京都エアロビック連盟理事
NHK「おかあさんといっしょ」第9代体操のお兄さん
天野 勝弘 氏
参加人数 50人

3 ヘきなん健康マイレージ事業

(1) 目的

第3次へきなん健康づくり21プランの推進を図るため、愛知県の実施する「あいち健康マイレージ事業」と協働し、市民が生涯を通じて主体的に健康づくりに取り組めるよう環境の整備を図る。企業・団体、教育機関等と連携し、健康づくりを推進する。

(2) 対象

18歳以上の市民、在勤者、市内の小学4年生

(3) 優待カード発行数

18歳以上の市民、在勤者：79枚（紙）103枚（アプリ）計182枚
市内の小学4年生：127枚

第 1 2 骨髄提供者等に対する助成事業

1 骨髄提供者等に対する助成事業

(1) 目的

公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業にドナー登録を行い、骨髄又は末梢血幹細胞の提供を行った人及び骨髄提供者が勤務する事業所に対して助成金を交付することにより、骨髄提供者等の負担の軽減を図るとともに、骨髄等の移植を推進する。

(2) 対象者

ア 骨髄提供者で骨髄等の提供の日に市内に住所を有する人

イ (2)アの骨髄提供者（個人事業主を除く）が骨髄等の提供の日に勤務している国内の事業所（国、地方公共団体、独立行政法人、地方独立行政法人、国立大学法人及び公立大学法人を除く）

(3) 助成金額

ア 骨髄提供者

1人につき、通院又は入院に要した日数に20,000円を乗じた額。
ただし、通算7日（140,000円）を限度とする。

イ 事業所

1事業所につき、1(1)の骨髄提供者が通院又は入院に要した日数に10,000円を乗じた額。ただし、通算7日（70,000円）を限度とする。

(4) 開始日

平成31年4月1日

(5) 実績

令和元年度 0件

令和2年度 1件（6日分、120,000円）

令和3年度 0件

令和4年度 0件

令和5年度 0件

令和6年度 0件

令和7年度 0件

第 13 がん患者支援事業

1 がん患者アピアランスケア支援事業

(1) 目的

がん患者のがん治療による外見変貌を補完する補整用具の購入費用の一部を助成することにより、がん患者の就労及び社会参加を支援し、療養生活の質の向上を図る。

(2) 対象

下記のアからエの全てに当てはまる人

ア 申請時において碧南市に住民登録している人

イ がんと診断され、その治療を受けた又は現に受けている人

ウ がん治療による脱毛又は乳房が変形したことに伴い補整用具を購入した人

エ 過去に同じ対象品で助成を受けていない人

(3) 助成内容

ア ウィッグ（かつら）

ウィッグ全頭用又は部分用で、ウィッグと同時に購入した頭皮保護用ネットを含む。

イ 乳房補整具

補整下着、補整パッド又は人工乳房。補整パッド又は人工乳房と同時に購入した補整パッド又は人工乳房を固定するための補整機能のない下着を含む。

(4) 助成金額

補整用具の購入費用に2分の1を乗じて得た額とし、2万円を上限とする。助成の回数は、対象者1人につき、補整用具の種類ごとに1回とする。

(5) 開始日

令和4年4月1日

(6) 令和7年度実績

ウィッグ 19件

乳房補整具 6件

2 若年がん患者在宅療養支援事業

(1) 目的

医学的知見に基づき回復の見込みがない状態に至ったと診断された若年のがん患者に対し、若年がん患者在宅療養費助成金を支給することにより、住み慣れた自宅で最期まで自分らしく安心して日常生活を送ることができるよう支援し、患者及びその家族の身体的、精神的及び経済的負担の軽減を図ることを目的とする。

(2) 対象

下記のアからエの全てに当てはまる人

- ア 利用時において碧南市に住民登録している人
- イ 利用時において、40歳未満の人
- ウ がんと診断された人
- エ 在宅における療養生活の支援及び介護が必要な人

(3) 助成内容

- ア 在宅サービス
- イ 福祉用具の貸与
- ウ 福祉用具の購入

※他の制度において支援事業と同等の助成又は給付を受けているものは、対象外

(4) 助成金額

在宅サービス等の利用費用の9割相当額とし、1か月5万4千円を上限とする。

(5) 開始日

令和5年4月1日

(6) 令和7年度実績

1件